



取扱説明書

スマートテレビ
型番

32Z65

40Z65

この度は、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に
保管し、おわかりにならないことがあった時に再読してください。

この保証書は必ず「販売店/購入日」などの記入を確かめて、お買い上げの販売店か
らお受け取りください。

安全上のご注意

(この取扱説明書の文中に出てくる「スマートテレビ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています)

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。

本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

家庭用品品質表示法による表示

ご使用上の注意

- 1 テレビ内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
- 2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
- 3 テレビ内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
- 4 ちり、ほこりを取るためテレビ内部を掃除するときは、販売店もしくはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

警告

電源コードの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください



禁止

- ・コードを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っばったり、加熱したりしないでください。
- ・コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- ・重いものをのせたり、電源コードがディスプレイの下敷きにならないようにしてください。
- ・電源コードを抜くときは、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。



高圧注意

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調節、修理は、販売店にご相談ください。



分解禁止



水場での
使用禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ・通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください。
- ・水がかかるような場所では使用しないでください。



絶対に水に
ぬらさない



接触禁止

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。



禁止

ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない

炎が近づくと、火災の原因になります。



禁止

交流100ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。

異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

本機が落下または転倒すると、死亡または重傷を負う原因となることがありますので、本機を設置するときや、移動するときには、以下のような予防措置をしてください。お子様のいるご家庭では、特に注意してください。

- 本機をご使用になる前に、必ず付属のスタンドを取り付けてください。取り付けには付属の取付用ネジを使用して固定してください。
- 落下や転倒によるけがや物損事故の原因となることがありますので、ぐらついた台や傾いた台などに設置しないでください。
- 設置場所や取り付けに気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
- 台などにのせて設置するときは本機が台などの端からはみ出さないように設置してください。
- 食器棚や本棚などの高い家具や台などにのせて設置するときは、必ず落下および転倒防止の処置をしてください。
- 台などの上に布などを敷いて本機を設置しないでください。
- 本機の上や本機を設置した台や家具などの上に、お子様がよじ登りたくなるようなもの(玩具やリモコンなど)を置かないでください。



禁止

人が通行するような場所には置かない。コード類は正しく配置する。

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因になる恐れがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。(画面が映らない、音が出ない)
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはドウシシャお客様相談室に修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠ 注意



禁止

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。

- ・ 密閉したラックの中に入れないでください。
- ・ じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- ・ 布団や毛布、布をかけないでください。
- ・ 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- ・ 本機の設置は周囲から10cm以上の間隔をあけてください。



禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。油分によりスタンドやキャビネットの強度が低下し、落下や転倒によるけがや物損事故の原因になる恐れがあります。



禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。



指示

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。



プラグを抜く

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

思わぬ火災や感電の事故を防ぎます。

- ・ 旅行などでしばらく使わない場合
- ・ お手入れをする場合
- ・ 本機を移動させる場合



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。



指示

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントに電源プラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。電源プラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。



指示

思わぬ事故を防ぐために

- ・ コンセントの周りにほこりをためないようにときどき掃除をする。
- ・ 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- ・ コンセントやプラグに異常がないか確かめる。
- ・ 本機の設置や持ち運びは2人以上で行なう。



指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。

液晶パネルが割れた場合、液晶パネル内部の液体には絶対に触れないでください。

皮膚の炎症などの原因となることがあります。

万一口に入った場合は、すぐにうがいをしして医師にご相談ください。

また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師にご相談ください。



禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害を起こすことがあります。



指示



禁止

電池の取り扱いについて（リモコンの電池）

電池の使いかたを誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ・ 十ーの指示通りに入れる。
- ・ 指示以外の電池は使用しない。
- ・ 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- ・ 電池の充電、ショート、分解、火への投入、加熱などしない。
- ・ 液漏れがあった場合は、その液に触れない。
- ・ 小さなお子様の手の届くところに電池を置かない。
- ・ 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従う。

使用上のご注意とお願い

輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

お手入れについて

- ・ お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。
- ・ キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
 - ベンジンやシンナーは使わないでください。
また、化学ぞうきんの使用は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
 - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- ・ 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。
液晶パネル保護のため、次のことをお守りください。
 - 液晶パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
傷付き・変色の原因となります。
 - 液晶パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。
色ムラ・変色の原因となります。
 - 液晶パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。
傷付き・変色の原因となります。

輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネルの破損や面欠点の増加の恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、液晶パネル表面や上部が熱くなる場合があります。
熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。
また、本機の上に、タオルをかけたり、ものを置かないでください。

室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。

連続使用について

本機は、24時間連続使用を前提とした設計ではありません。
有寿命部品（バックライト、アルミ電解コンデンサ）の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご利用は避けてください。

廃棄時にご注意願います

- ・ 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式／液晶式／プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- ・ 本機を廃棄（または譲渡）する場合には、設定メニュー「出荷時設定にリセット」を行なって、本機内の個人情報进行を消去してください。
- ・ NHKや有料放送の契約がある場合は、各放送局に解約または変更の連絡をしてから、廃棄（または譲渡）をしてください。

ご使用になる前に

無線接続 (Bluetooth/Wi-Fi) について

本機はBluetoothおよびWi-Fiの無線通信技術を搭載しています。

電波に関する注意事項 (主に2.4GHz帯)

本機の使用周波数帯域では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン、関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・Bluetooth機器と無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)は、同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・本機はすべてのBluetooth機器、無線LAN(Wi-Fi)対応機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。
- ・無線LAN(Wi-Fi)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

5GHz帯利用に関する注意事項

5.2GHz帯および5.3GHz帯のWi-Fi屋外利用は禁止されています。(5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局または地上移動中継局と通信する場合を除く)

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器、無線LAN(Wi-Fi)対応機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能、無線LAN(Wi-Fi)機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth機能、無線LAN(Wi-Fi)機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能、および無線LAN(Wi-Fi)機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

USBメモリーについて

USBメモリー

- ・ファイルシステム FAT32
- ・USB2.0対応

本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

- ・本機で利用できるUSBメモリーは32GB以下です。
- ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- ・本機では、USBメモリー内のファイルを移動させることはできません。
- ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

B-CAS カードについて

デジタル放送を視聴していただくために、付属しているminiB-CAS (ミニビーカス)カードは、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などをした場合は、速やかに(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。

お客様の責任で破損、故障、紛失などをした場合は、再発行費用が請求されます。

乾電池について

乾電池を扱うときには

- ・指定以外の乾電池は使用しない。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
- ・液もれがおきたら使用しない。
乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長時間使用しないときや、家庭用電源で使用するときは乾電池を取り外す。
- ・使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池も外しておく。

著作権について

- ・本機でお客様がインターネットなどから録音・ダウンロードしたものやテレビの映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるメモリーなどへの記録された内容の損害および録音・再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

記録されたものの使用についても、当社は一切の責任を負いません。

使用されたUSBメモリーなどが原因での本機の故障については、保証期間であっても保証対象外となり、当社は一切の責任を負いません。

地上デジタル放送について

- ・UHFアンテナで受信できます。
 - ・ケーブルテレビでも地上デジタル放送を受信できます。ご契約、またはご契約予定のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。
- ※本機では、部分受信サービス(ワンセグ)は受信できません。

BS・110度CSデジタル放送について

- ・視聴するには110度CS対応BSデジタルアンテナが必要です。
- ・BSデジタル放送は放送衛星を使用して送信され、一部のチャンネルは有料放送となっています。有料放送を視聴するにはご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

お知らせ

地上デジタル・BS・110度CSデジタル放送には、以下の3種類の放送があります。

- テレビ放送：従来のテレビ放送です。
- データ放送：お住まいの地域の生活情報や天気予報、ニュースなどの放送です。dボタンを押すとデータ放送を表示できます。
- ラジオ放送：音声を主とした放送です。
地上デジタル放送では、現在ラジオ放送を休止しています。(2011年3月以降)

商標とライセンス

Google関連

Google、YouTube、Android TV、Google Castは Google LLCの商標です。

Netflix

Netflix視聴プランのメンバーシップが必要です。詳細はwww.netflix.com/TermsOfUseをご覧ください。

Prime Video

Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Dolby

Dolby、ドルビー、Dolby Audio、およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。

HDMI

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

Bluetooth

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。

株式会社ドワンシャは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

目次

● はじめに

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意とお願い.....	5
輝点・欠点について.....	5
お手入れについて.....	5
輸送について.....	5
本機の温度について.....	5
室内温度について.....	5
バックライトについて.....	5
連続使用について.....	5
廃棄時にご注意ください.....	5
ご使用になる前に.....	6

● 準備

付属品を確認する.....	9
各部の名称 (本体).....	10
本体前面.....	10
本体背面.....	10
入出力端子部.....	10
各部の名称 (リモコン).....	11
リモコン.....	11
準備.....	12
リモコンの電池の取り付け.....	12
設置.....	12
スタンドの取り付け.....	12
転倒防止の処置.....	13
電源コードの取り付け.....	14
壁掛・モニターアームなどへの取り付け.....	14
アンテナを接続する.....	15
アンテナ線のつなぎかた.....	15
インターネットの接続.....	16
B-CAS カードの取り付け.....	16
外部機器の接続.....	17
電源ボタン.....	18
電源を接続する.....	18
電源を入れる.....	18
電源を切る.....	18
本体の電源ボタン.....	18
リモコンを探す.....	18
初期設定のしかた.....	19
初期設定.....	19
テレビ放送受信の設定《かんたんセットアップ》.....	21

● 基本の操作

スマートテレビの操作.....	22
ホーム画面の操作のしかた.....	22
テレビ放送を表示する.....	22
アプリの追加 (インストール).....	23
アプリの削除 (アンインストール).....	23
ライブラリ.....	24
映画・番組アプリなど検索する.....	24
様々な設定.....	24
搭載されているアプリ.....	25
テレビの操作.....	26
テレビ放送を観る.....	26
番組表を確認する.....	27
視聴予約をする.....	27
視聴予約を確認する・変更をする.....	28
連動データ放送を楽しむ.....	29
データ放送について.....	29
双方向サービスについて.....	29
スリープタイマーを使う.....	30
ディスプレイオフ機能を使う.....	30
省エネ設定をする.....	30
外部接続機器を表示する.....	31
画面モードの設定.....	31
画面の静止.....	31
Bluetooth の設定.....	32
録画・予約機能について.....	33
録画できる機器と番組.....	33
接続・設定と録画前の準備.....	33

録画用 USB ハードディスクの接続をする.....	34
USB ハードディスクを接続する.....	34
USB ハードディスクを登録する.....	34
USB ハードディスクの設定をする.....	35
録画をする.....	36
すぐに録画を開始する.....	36
番組単位で録画をする.....	36
日時を指定して予約する.....	37
録画予約を確認する・変更をする.....	38
録画を中止する.....	38
録画した番組を再生する.....	39
録画した番組の再生のしかた.....	39
USB メモリーの閲覧.....	40
ショートカットボタン.....	41

● 調整と設定

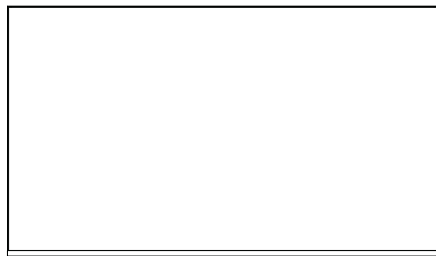
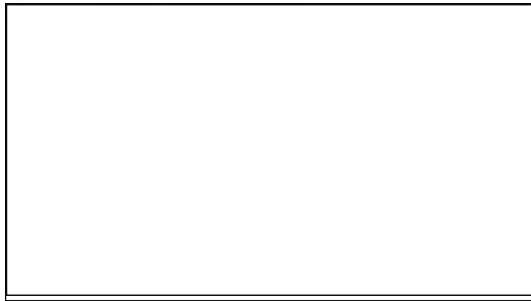
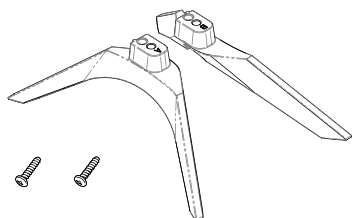
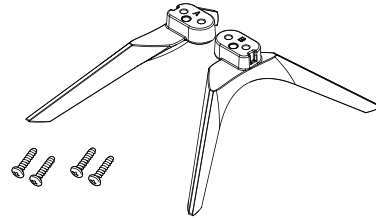
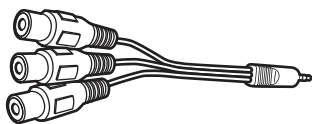
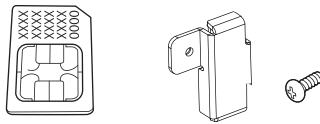
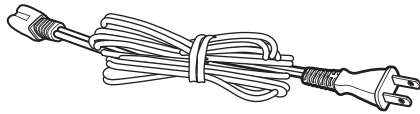
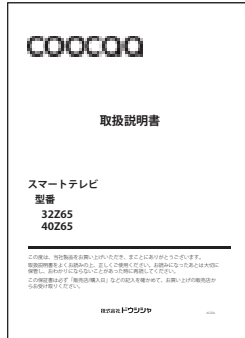
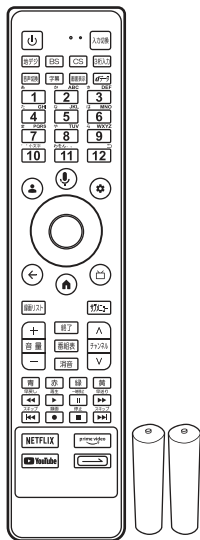
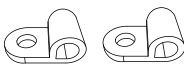
各種設定.....	42
設定できる項目.....	42
設定できる項目 (テレビ設定).....	45
設定できる項目 (番組表設定).....	45
アップデートのしかた.....	46
ソフトウェアをアップデートする.....	46
対応するHDMI入力映像フォーマット.....	46

● その他

故障かな?と思ったら.....	47
主な仕様.....	50
保証とアフターサービス.....	52

付属品を確認する

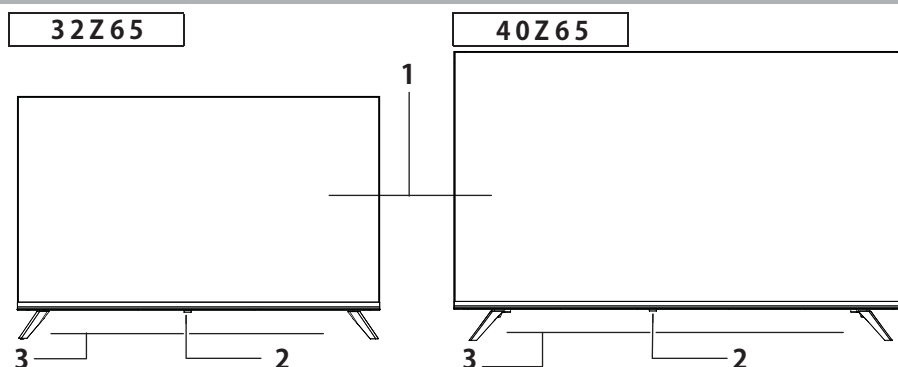
本製品をご購入時には、以下のものが含まれています。すべて揃っているかご確認ください。

32Z65		40Z65	
本体			
			
スタンド			
			
スタンド×2、スタンド取付用ネジ×2		スタンド×2、スタンド取付用ネジ×4	
ビデオ入力用変換ケーブル		B-CAS カード	
			
ビデオ入力用変換ケーブル×1		B-CAS カード×1、B-CAS カードカバー×1、固定ネジ×1	
電源コード		取扱説明書	リモコン
			
電源コード×1			
転倒防止用フック			
		取扱説明書×1	リモコン×1、単4形乾電池×2
転倒防止用フック×2、ネジ×2			
スペーサー			
			
スペーサー×4			

準備

各部の名称 (本体)

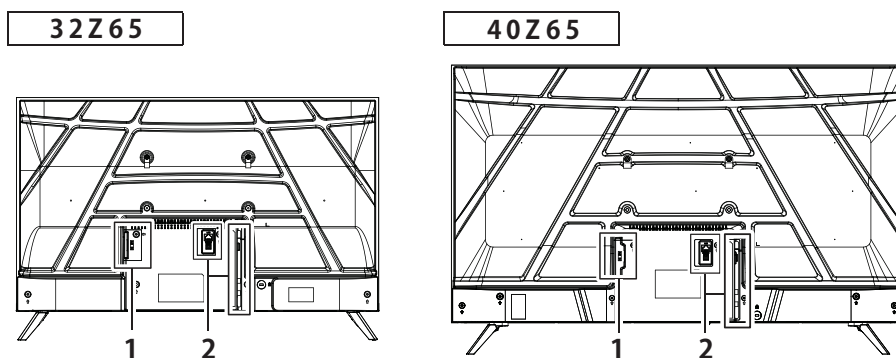
本体前面



- 1 液晶画面
- 2 電源ボタン・電源ランプ
リモコン受光部
- 3 スタンド

電源切：赤色点灯
電源入：緑色点灯

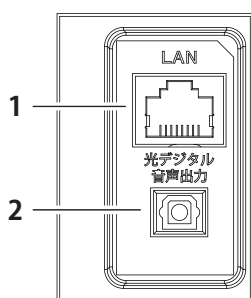
本体背面



- 1 電源端子
- 2 入出力端子部・B-CASカード挿入部

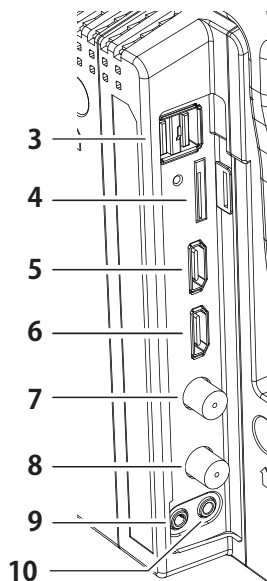
入出力端子部

背面 入出力端子部



- 1 LAN端子
- 2 デジタル音声出力端子 (光)

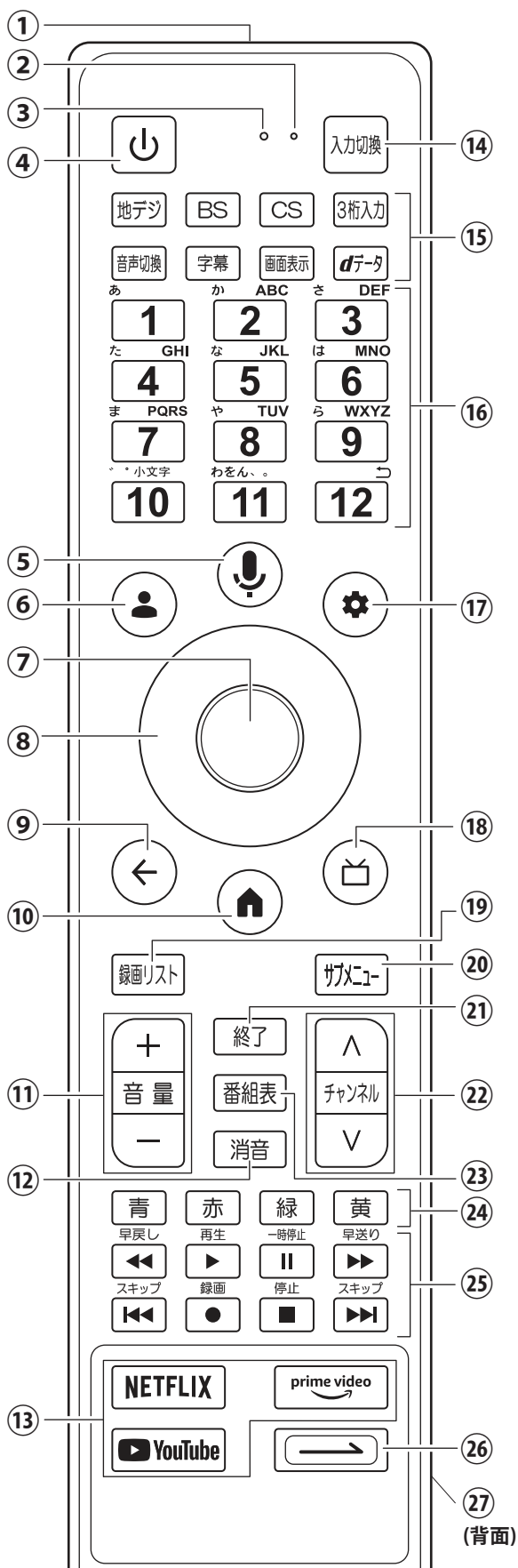
側面 入出力端子部・B-CASカード挿入部



- 3 USB端子
- 4 B-CAS カード挿入部
- 5 HDMI 1/ARC入力端子
- 6 HDMI 2入力端子
- 7 地上デジタルアンテナ入力端子
- 8 BS/110度CSアンテナ入力端子
- 9 ヘッドホン端子
- 10 AV入力端子

各部の名称 (リモコン)

リモコン



- ① **送信部**
本機へ信号を送信します
- ② **マイク**
Googleアシスタント用のマイクです
- ③ **インジケータライト**
Googleアシスタントの状態を表示します。緑色点灯しているときに、音声入力ができます。
- ④ **電源ボタン**
本機の電源を「入」「切」(切/スタンバイ)します。
- ⑤ **Googleアシスタントボタン**
Googleアシスタントを起動し、音声入力ができるようになります。
- ⑥ **Googleアカウントボタン**
Googleアカウントの変更/登録をします。
- ⑦ **決定ボタン**
メニュー画面など方向ボタンで選択した項目を決定します。
- ⑧ **方向ボタン**
画面上のカーソルを操作したりメニューの項目を選択します。
- ⑨ **戻るボタン**
メニュー画面を表示しているときに、1つ前の画面に戻ります。
- ⑩ **ホームボタン**
ホーム画面に戻ります。
- ⑪ **音量+/-ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。
- ⑫ **消音ボタン**
音声を一時的に消音にします。もう一度押すと消音を解除します。
- ⑬ **動画配信サービスボタン**
ボタンに設定されているVODアプリを開くことができます。
- ⑭ **入力切替ボタン**
接続した入力機器などの切り換え画面を表示します。
- ⑮ **テレビ放送関係ボタン**
放送の電波を選択します。
チャンネルを3桁の番号を入力して切り換えます。
音声多重放送のときに音声を切り換えます。
字幕放送のときに字幕を切り換えます。
情報・時刻の表示を切り換えます。
データ放送を表示します。
- ⑯ **数字ボタン**
数字の入力と、チャンネルをダイレクトに選局します。
- ⑰ **設定ボタン**
各種設定をする設定画面を表示します。
- ⑱ **ライブガイドボタン**
ライブガイドにアクセスします(現在は番組表を表示)
- ⑲ **録画リストボタン**
録画した番組のリストを表示します。
- ⑳ **サブメニューボタン**
サブメニュー画面を表示します。
- ㉑ **終了ボタン**
番組表やメニュー画面などを終了します。
- ㉒ **チャンネルボタン**
チャンネルを順送り・逆送りします。
- ㉓ **番組表ボタン**
番組表を表示します。
- ㉔ **青赤緑黄ボタン**
各種操作・アプリ上で使用します。
- ㉕ **録画再生コントロールボタン**
録画した番組のほか一部アプリでも使用できます。
- ㉖ **ショートカットボタン**
好みのアプリや設定を登録して使用します。
- ㉗ **背面スピーカー**
「リモコンを探す」(P.18)で音声が出力されます。

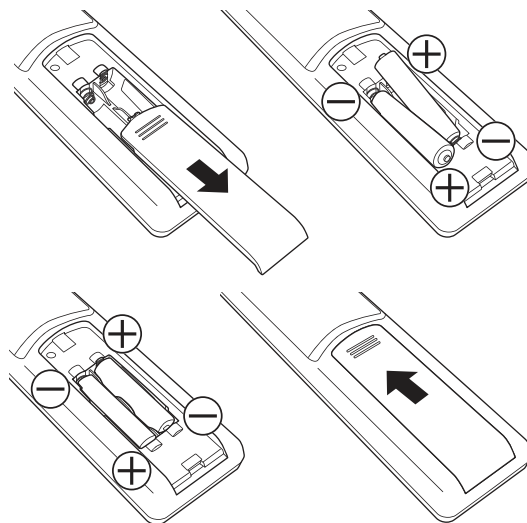
準備

準備

リモコンの電池の取り付け

付属の乾電池をリモコンの裏面の電池ケースに取り付けてください。

- 1 リモコン裏面の電池ぶたを手前に引いて取り外す
- 2 乾電池の⊕⊖極の方向に注意して、乾電池を入れる
⊖極側を先に入れてください
- 3 電池ぶたを元の位置に取り付ける
リモコン側の凹みに合わせて取り付け、電池ぶたを全体的に動かして取り付けてください。



△ご注意

- ・ 新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から液もれすることがあり、火災やけがの原因になります。
- ・ 乾電池の電極の向きが正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

■お願い

- ・ 乾電池は正しい方向に入れてください。
- ・ 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従って処理してください。
- ・ 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り外してください。
- ・ 付属の乾電池はお試し用です。早めに新しい乾電池と入れ換えてください。

設置

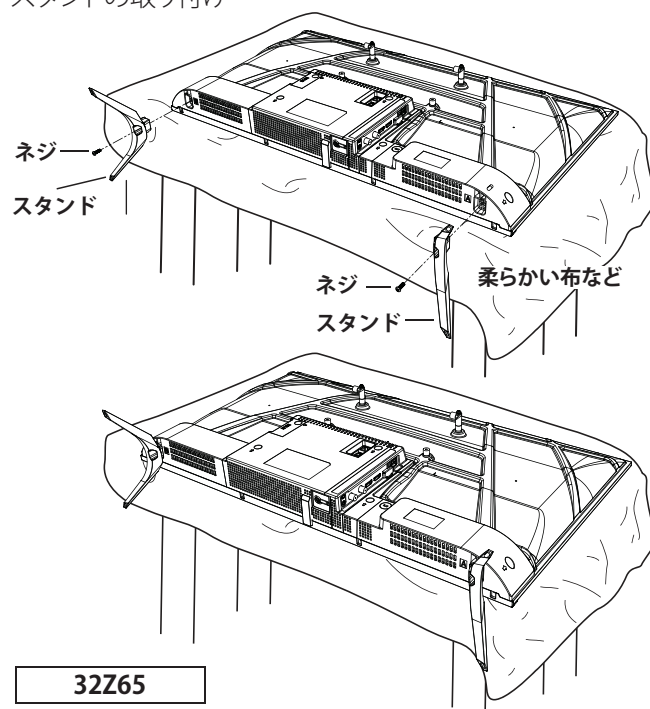
スタンドの取り付け

本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付ける際は、スタンドの取り付け方向に注意して、正しく取り付けてください。

32Z65のスタンドの取り付け

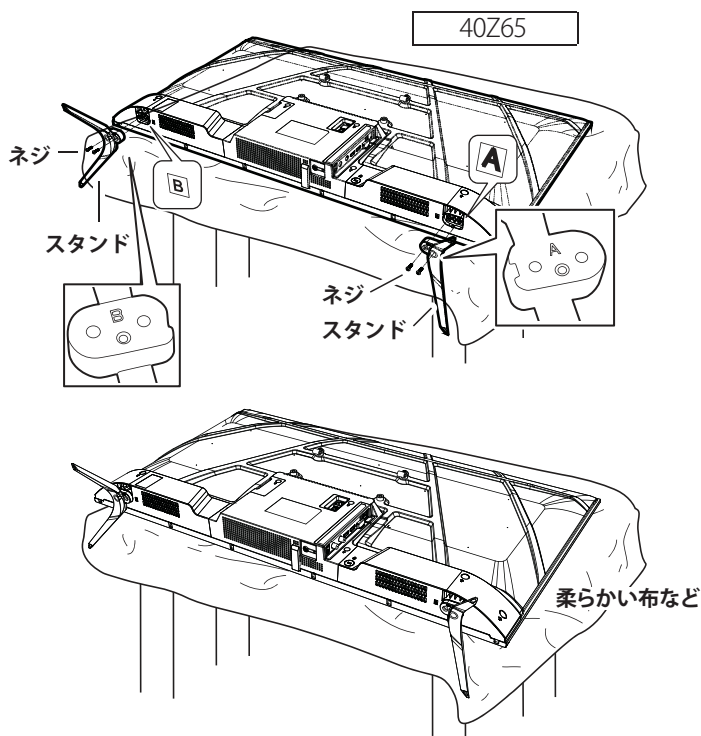
- 1 台などの上に柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く
- 2 右図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属の固定ネジで固定する
スタンド取付部の形は、左右で同じです。
お手持ちの適切な大きさの+（プラス）ドライバーを使用してガタつきがないようにしっかりとネジをしめてください。

スタンドの取り付け



40Z65のスタンドの取り付け

- 1 台などの上に柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く
2人で本体を持ち上げてください。
- 2 右図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属の固定ネジで固定する
スタンド取付部の形は、左右で異なります。本体にあるAとスタンドにあるAを組み合わせる取り付けます（Bも同様）。
お手持ちの適切な大きさの+（プラス）ドライバーを使用してガタつきがないようにしっかりとネジをしめてください。



△ご注意

- スタンドの取り付けは、2人以上で行なってください。
- ・ スタンドの取り付け方向を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
 - ・ 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。圧力でパネルガラスが破損する可能性があります。
 - ・ 電動ドライバーは使用しないでください。

保護テープを外す

本体を立ててみて、スタンドが正しく取り付けられたことを確認し、本体の保護テープを取り外してください。

転倒防止の処置

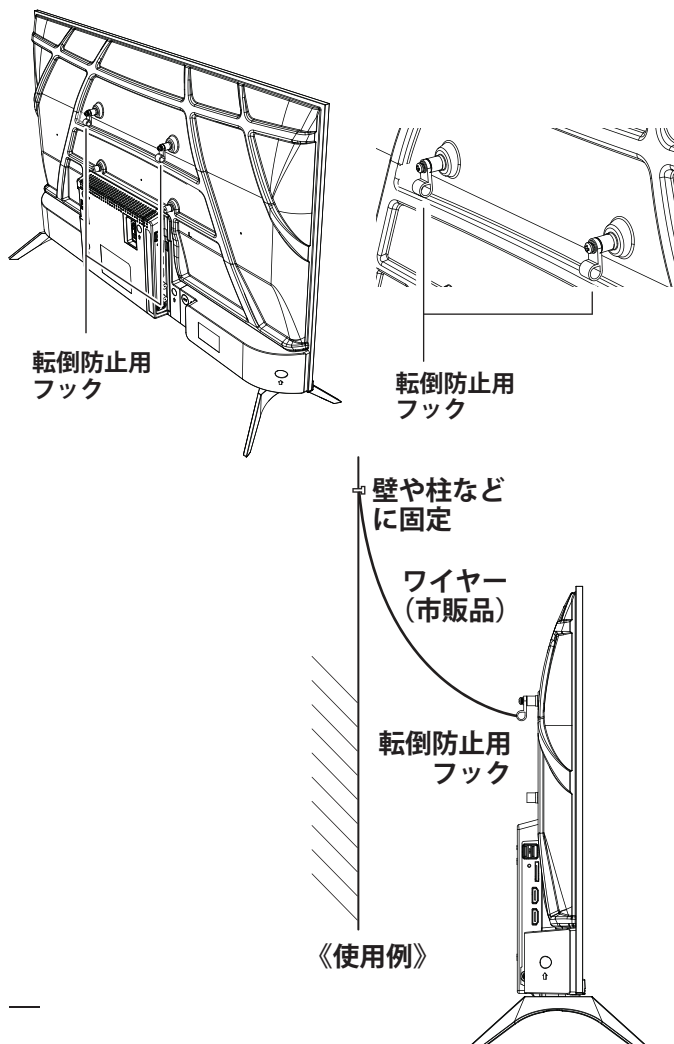
地震などでの本体転倒によるけがや物損事故などの危害を軽減するため、市販の転倒防止用品などを使用して転倒防止の処置をしてください。

付属の転倒防止用フックは、下記のように使用してください。

- 1 転倒防止用フックに、丈夫なワイヤー（市販品）などを通して、壁などにしっかりと固定する

△ご注意

- ・ ワイヤーなどの市販品を使用してしっかりと壁や柱（梁や吊り束、桁）などに固定してください。
- ・ 壁や柱などの強度によっては、転倒防止効果が大幅に減少することがありますので、その場合は適切な補強を施してください。
- ・ 転倒防止の処置は、けがや物損事故などの危害を軽減するためのもので、すべての地震などに対して効果を保証するものではありません。



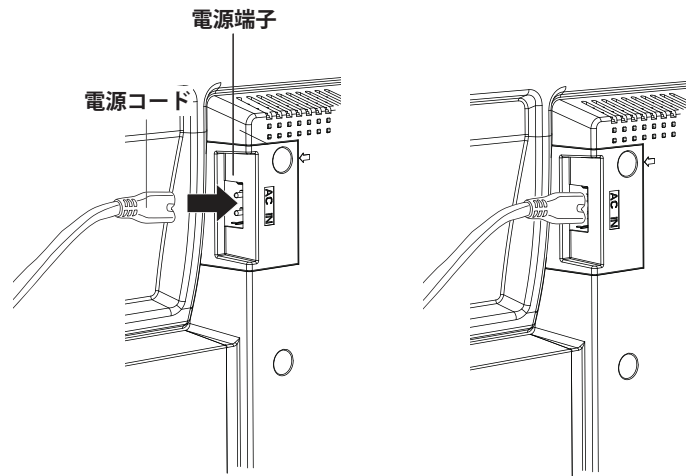
設置 (つづき)

電源コードの取り付け

側面の電源端子に、付属の電源コードを取り付けてください。

⚠ 警告

- ・ 付属の電源コード以外のもので本機とコンセントをつながないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 付属の電源コードは本機以外の製品では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



壁掛・モニターアームなどへの取り付け

本機は市販の壁掛け金具を使用して壁に取り付けたり、モニターアームなどへも取り付けることができます。

- ・ 本機を取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- ・ 壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- ・ 壁への取り付けが不完全または誤った取り付けかたをすると、本機が落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。

■お知らせ

VESA 規格に準じた金具をご使用できます。

付属のスペーサーを使用してください。

本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください（電源コード、接続するHDMIケーブルなどの重量も考慮してください）。

ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調節してください。

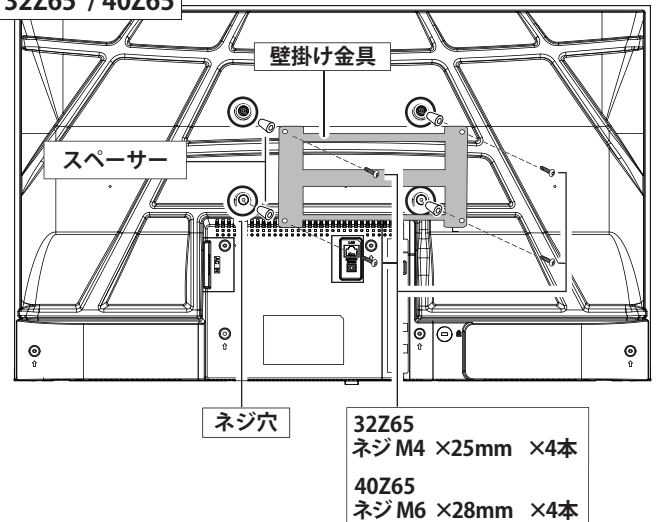
下記の条件に合った金具をご使用ください。

32Z65	
ネジ穴寸法：	200mm×100mm (VESA規格)
耐荷重：	3.4kg以上
取り付けネジ：	M4×25mm×4本
40Z65	
ネジ穴寸法：	200mm×100mm (VESA規格)
耐荷重：	4.8kg以上
取り付けネジ：	M6×28mm×4本

※付属のネジは転倒防止用フックを取り付けるためのものです。

※壁掛け金具と製品の間に付属のスペーサー各1個ずつ、計4か所にはさみ、取り付けネジを締めください。

32Z65 / 40Z65



⚠ ご注意

- ・ 長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します（ワッシャーを入れて調節ください）。
- ・ 油煙や湯気が当たるところには設置しないでください。油分によりキャビネットの強度が低下し、本機が落下するおそれがあります。
- ・ 電動ドライバーは使用しないでください。
- ・ 電源コードの位置に注意して取り付け金具を選択してください。
- ・ 本機を壁掛けで使用するときは、スタンドを取り外してください。
- ・ 取り外したスタンドとスタンド取付用ネジは大切に保管してください。

アンテナを接続する

⚠️ご注意

- アンテナを接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- ご使用になるアンテナプラグは、タイプAの形状を推奨します。タイプBの形状はアンテナ端子への接続がしにくいものがありますので、ご注意ください。

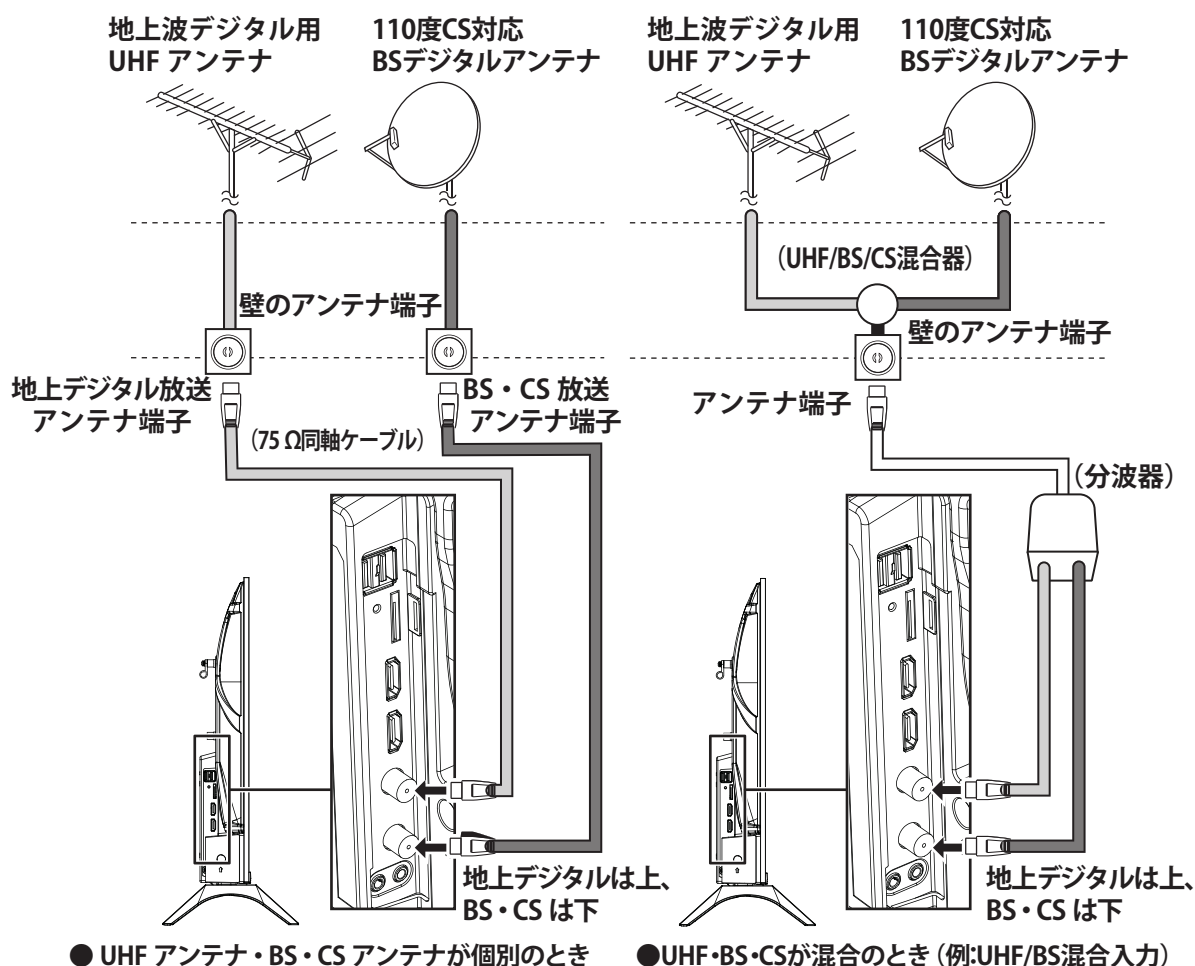


アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送を視聴するにはUHF対応のアンテナ、BS・110度CSデジタル放送を視聴するには110度CS対応BSデジタルアンテナを使用してください。

お使いのアンテナがUHF対応でも、地域やアンテナ設置状況によって、取り換えや調整、またはブースターの追加などが必要になる場合があります。

接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは本製品に付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。



■お知らせ

- 天候などの影響により受信信号レベルが変動します。アンテナレベルが足りないときはブースターなどで調整してください。
- ケーブルテレビで受信しているときは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 従来のBSアナログアンテナでは110度CSデジタル放送を受信することはできません。BSデジタル放送は受信することができますが、一部のアンテナにはデジタル放送を受信するための機能が付いていないことがあります。特定のチャンネルが受信できなかったり受信状況が悪いときには、ドウシシャお客様相談室にご相談ください。
- 本機ではBS・110度CSによる4K・8K放送は受信できません。

設置 (つづき)

インターネットの接続

本機を利用するためには、インターネットに接続する必要があります。

あらかじめプロバイダー契約など、インターネットに接続できる環境にしておく必要があります。

有線で接続する場合

有線で接続する場合は、自宅のルーターとLANケーブルでイーサネット接続をします。

- ・LANケーブルは長さにも余裕を持った接続をしてください。
- ・イーサネットのプラグを差し込んだとき、「カチッ」と音がしてロックされ、外れないようになっていることを確認してください。

無線(Wi-Fi)で接続する場合

無線で接続する場合は、自宅のWi-Fiルーターなどを準備し、接続します。

- ・Wi-Fi機器からできるだけ近い、安定して高速で接続できる位置で接続をしてください。

B-CAS カードの取り付け

本機でデジタル放送を視聴するには、miniB-CASカードが必要です。付属のminiB-CASカードを常にB-CASカードスロットに入れておいてください。

△ご注意

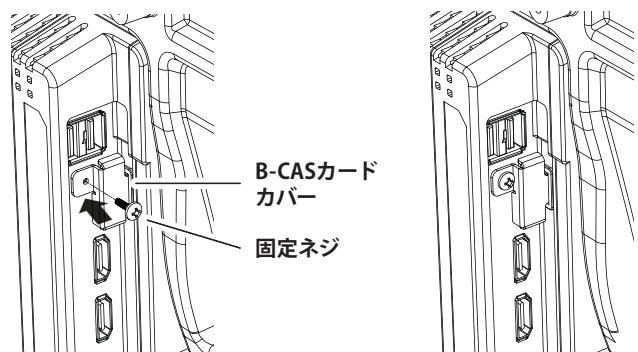
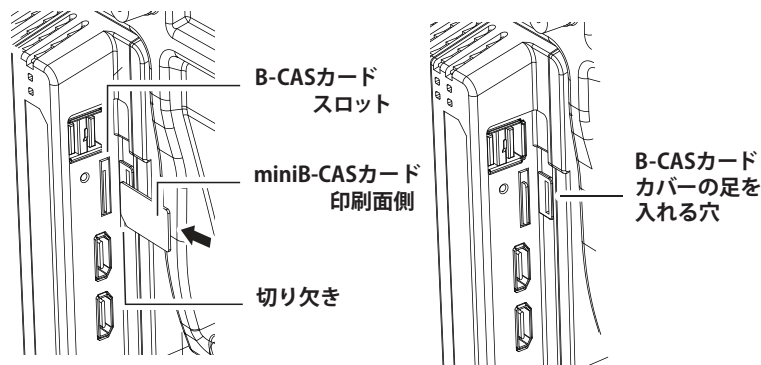
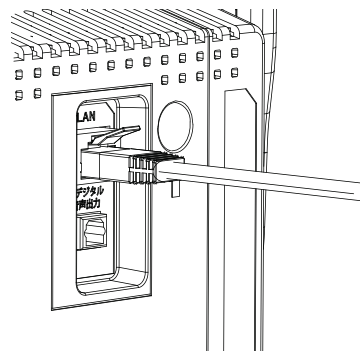
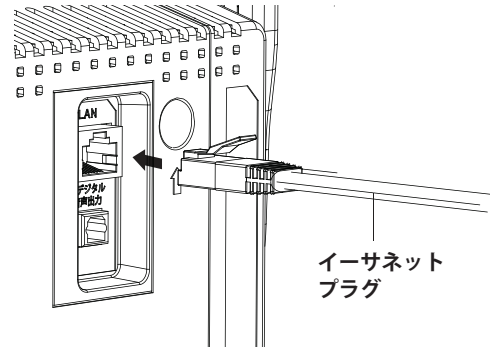
- ・本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で miniB-CAS カードの抜き差しを行なってください。miniB-CAS カードを挿入するときは、カードの向きにご注意ください。切り欠きが下になるようにしっかりと挿入してください。
- ・miniB-CAS カードを挿入するときは、「カチッ」という音がするまで確実に挿入してください。挿入が不十分だと、カードが正常に認識されません。
- ・miniB-CAS カードを挿入するときに、miniB-CAS カードの金色端子部に決して指で触れないよう注意してください。もし触れたときは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- ・間違った差し込みによる miniB-CAS カードの破損、紛失などの場合は、製品保証期間内でもお客様の費用負担（有償）となりますのでご注意ください。

B-CAS カードカバーを取り付ける

miniB-CASカードの脱落や紛失を防止するためのカバーが付属しています。

- ・miniB-CASカードを正しく取り付ける
- ・B-CASカードカバーの足を本体画面側の穴に取り付ける
- ・B-CASカードカバーの上から付属のネジを取り付ける

接続例



外部機器の接続

■ パソコンの接続

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号を入力してください(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)。
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。

■ 接続ケーブル

- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ (HDMI) の表示があるケーブルをご使用ください。

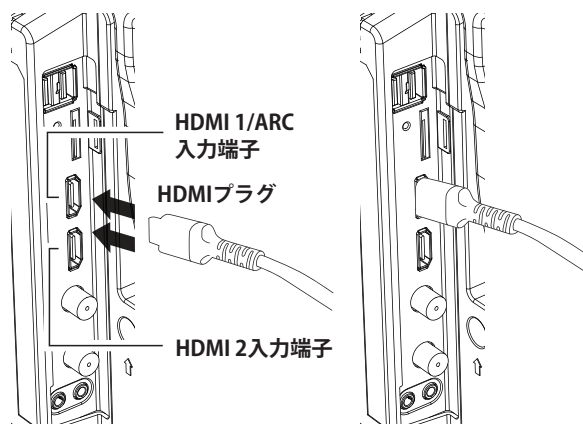
■ AV 機器の接続

- アナログのビデオ出力は、付属のビデオ入力用変換ケーブルをAV入力端子に接続し、赤・白・黄色の側に接続してください。

■ オーディオ出力

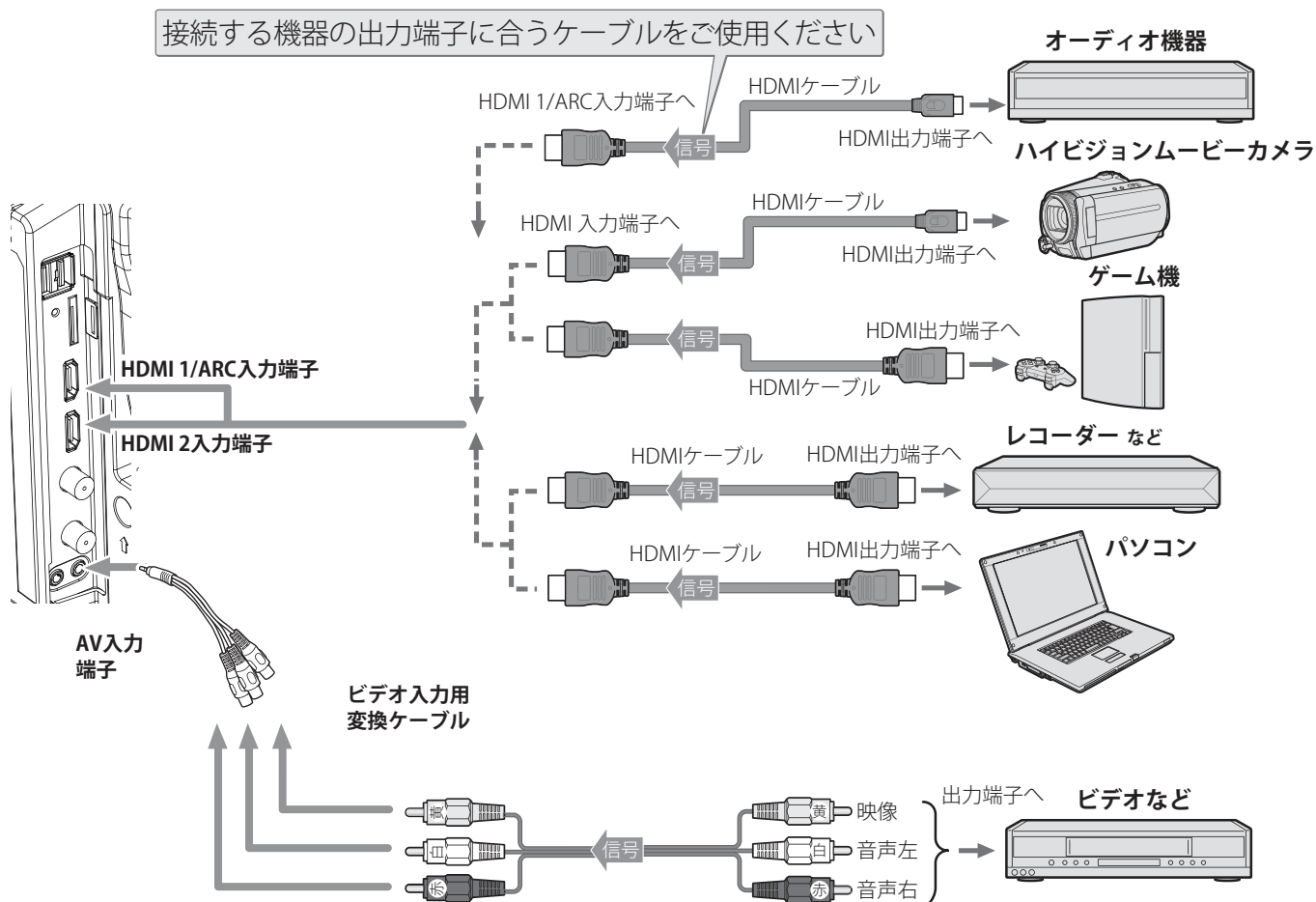
- スピーカーなど接続するときは、本体背面にあるデジタル音声出力端子(光)や、本体側面にあるHDMI1/ARC端子、ヘッドホン端子を使用してください。

接続例



△ご注意

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源ボタン

電源を接続する

- 1 電源プラグをコンセントに接続する
本体前面の電源ランプが赤色に点灯します。

電源を入れる

- 1 リモコンまたは本体の電源ボタンを押す
本体前面の電源ランプが緑色に点灯し、電源が入ります。

HDDやUSBメモリーなど接続している状態で、電源を入れたときに、右のようなHDDを読み込むメニューが表示されます。

- ・ ⏪ 戻るボタンを押すことで画面表示を消すことができます。

電源を切る

- 1 リモコンまたは本体の電源ボタンを押す
本体前面の電源ランプが赤色点灯し、スタンバイ状態になります。
本体の電源ボタンは長押ししてください。

リモコンの電源ボタンを長押しすると、電源をシャットダウンします。起動に時間がかかります。

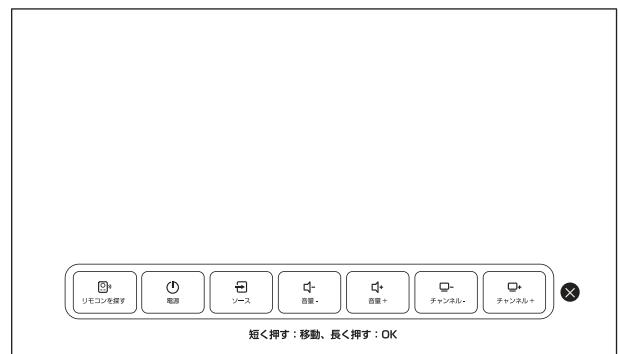
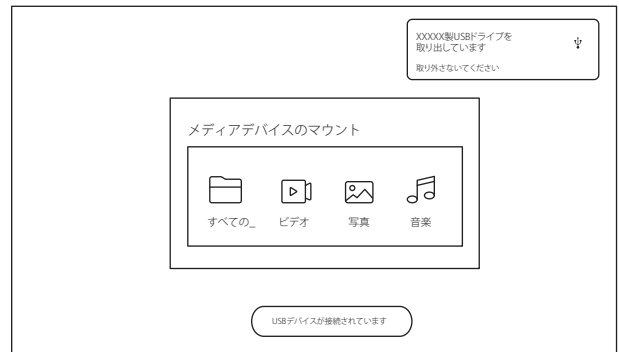
⚠ ご注意

- ・ 本体を移動させたりするときや長期保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。

本体の電源ボタン

本体の電源ボタンは、押しかたで様々なコントロールをすることができます。

- 1 電源が入っているときに本体の電源ボタンを軽く押す
右図のようなメニューが画面下に表示されます。
- 2 本体の電源ボタンを押して変更するメニューを選択して、長押しで変更する
本体の電源ボタンを押すたびにメニューが順に切り換わります。長押しすると、そのメニューを働かせることができます。
 - ・ ソースを選択すれば、Google TVや入力機器一覧が表示されます。地上波・BS・CSもソース選択で切り換えます。



リモコンを探す

本体の電源ボタンでリモコンから音を出し、リモコンを探すことができます。

- 1 電源が入っているときに本体の電源ボタンを軽く押す。
- 2 「リモコンを探す」で本体の電源ボタンを長く押す。
- 3 リモコンから「ピッ、ビッ、…」と音がでます。リモコンのボタンを押すと音が止まります。

⚠ ご注意

- ・ 「リモコンを探す」を使用するためにはリモコンのペアリングが必要です (➡ 19)。

初期設定のしかた

初めて電源を入れたときに初期設定が表示されます。搭載されるシステムのバージョンが変わることによって初期設定のしかたが変更になることがあります。

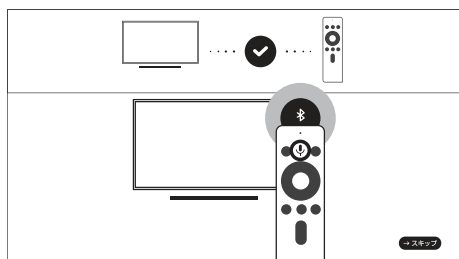
初期設定

接続状態などによって表示されない項目、別の表示が出る項目もあります。

1 リモコンのペアリングをする

画面上に出てくるようにリモコンの🔊Googleアシスタントボタンを押して、ペアリングをしてください。

- ペアリング中は接続のイラスト表示が上部に表示され、無事にペアリングが完了すると、「完了」表示が出ます。



2 言語を設定する

使用する言語を設定します。

- ⏮️方向ボタンで選択、⏹️決定ボタンを押してください。

※「日本語」に設定することを前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。

3 GoogleTVとベーシックテレビの設定を選択する

- Google TV**は本機でできる機能はすべて利用できます。
- ベーシックテレビ**は、一般的なテレビ機能の利用となり、アプリの追加、音声での検索や操作（Googleアシスタント）など使用できません。テレビ機能が必要とし、お急ぎで設定を終えたい場合こちらを選択してください（あとからでもGoogle TVに変更することは可能です）

※Google TVに設定したことを前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。

4 Googleアカウント登録方法を選択する

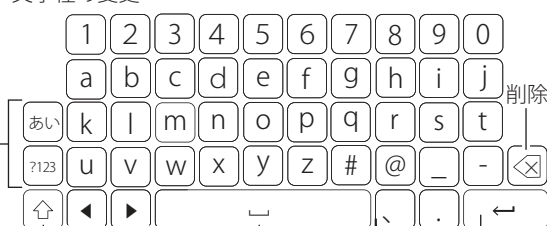
本機のスマート機能を使用するにはGoogleアカウント（登録名）が必要です。

- お手持ちのスマートフォンを使用して登録する場合は、画面の指示に従ってGoogleHomeアプリをダウンロードして設定してください。
- このまま付属のリモコンで登録するには、⏮️方向ボタンで下へ移動し、「リモコンで設定を続ける」を選択し、⏹️決定ボタンを押してください。

※以下、スマートフォンをお持ちでない場合のため、リモコンでの操作を前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。

キーボードの使いかた

文字種の変更



カーソル移動 スペース 改行・入力終了
シフト

1度押すとそのあとに押した1文字が大文字に
2度押すとそのあとに押す文字がすべて大文字になります（もう1度押すと元に戻ります）

このボタンを押すたびに変化します

かな表示 《例》 う→う→う→う
大⇄小 つ→っ→づ→つ は→ば→ぱ→は

※カタカナは直接入力できません（変換で対応）

本機のUSB端子にキーボードを接続することにより、スムーズに文字入力が可能になります。

キーボード配列はUS配列となり（日本のPC用とは異なります）、「@」はShift+2で入力します。

接続したキーボードによって機能が異なり、対応したアプリをインストールする必要があります。

準備

初期設定のしかた（つづき）

5 ネットワーク接続を設定する それぞれあとで設定・設定しなおすこともできます。

イーサネット接続をしていると、「有線LANを使って接続」と表示される

- そのまま有線LAN（イーサネット）で接続する場合は「次へ」を選択します。
- 無線LANを接続する場合は、「ネットワークを変更」を選択します。

イーサネット接続をしていないと、「Wi-Fiネットワークの選択」と表示される

接続したい Wi-Fi ネットワーク（SSID）を選択してください。

Wi-Fiネットワークを選択すると、「《Wi-Fiネットワーク名》のパスワードを入力してください」と表示されるのでパスワードを入力する

画面上に表示されるキーボードを使用して入力してください（USB接続したキーボードも使用できます）。

6 Google のログイン設定する Google のアカウント（Gmail などを使用するアカウント）をお持ちの場合は、「ログイン」を押します。 ※お持ちでない場合でも、次の画面でアカウント設定をすることができます。

Googleアカウント名・パスワードを入力してください

Googleアカウントをお持ちでない場合は、

⬅️戻るボタンを押すとキーボードが隠れますので、「アカウントを作成」を選択してください。

Googleアカウント作成画面になります。詳細を入力してアカウントを作成してください。

※ここで作成したアカウントとパスワードは大切なものですから、メモして残しておき、他人には教えないでください。

利用規約画面が出るので、よく読んで「同意する」を押す

「詳細」を選択すると、「同意する」が表示されます。

7 Googleサービスの画面が出るのでよく読んで、「同意する」を押す

右下のチェックマーク（位置情報など）は、外すことができます。

8 複数アプリの検索結果をまとめて表示するか設定する

「許可する」または「許可しない」を選択してください。

画面にしたがって、Googleアシスタントの各種設定をしてください。

9 動画配信サービスの設定をする 選択したアプリはGoogleアカウントにログインした際のおすすめ選定に使用されます。

10 エンドユーザー使用許諾契約を確認して、同意するために「✓」をつけて「次へ」を押す

11 設置場所を選択する 通常「ホーム」を選択してください。

テレビ放送受信の設定

チャンネルスキャンの画面になります（あとで設定画面から設定することもできます）。

現在放送されている電波を順に受信していきますので、確実にチャンネル設定をするためには、放送を停止している局がある平日深夜（NHKのEテレなど）や日曜深夜を避けて全局放送している時間帯に行なってください。

- 1 チャンネルスキャンをする
「スキャン」を押してください。

- 2 郵便番号の設定をする
本機を設置している場所の郵便番号を入力してください。
◎方向ボタンの上下で数字を選択し、◎決定ボタンを押してください。

- 3 地域設定をする
本機を設置している地域を選択してください。

- 4 受信帯域の設定
受信する電波を選択します。
受信帯域は通常「UHF」ですが、わからないときは、「全帯域」を設定してください
◎決定ボタンを押すとスキャンが始まります

- 5 スキャン結果を確認
一覧が表示されますので確認し、普段見ているテレビ局が一覧にない場合は、⬅️戻るボタンを押してアンテナの接続を確認し地域設定からやり直してください。
テレビ局が表示されている場合は「次へ」を押します。

- 6 BS/CSパラボラアンテナの電源の入/切を設定する
BS/CSを使用しない場合や、別の機器から電源を接続している場合、マンションなどで共有のアンテナを使用している場合は「オフ」を、本機のみ接続している場合など本機から電源を供給する場合は「オン」を設定します

7 GoogleTVの設定

前ページの手順9「動画配信サービスの設定をする」のアプリがインストールされます。

多少時間がかかります。

8 GoogleTVの準備が終わりました

◎決定ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

準備

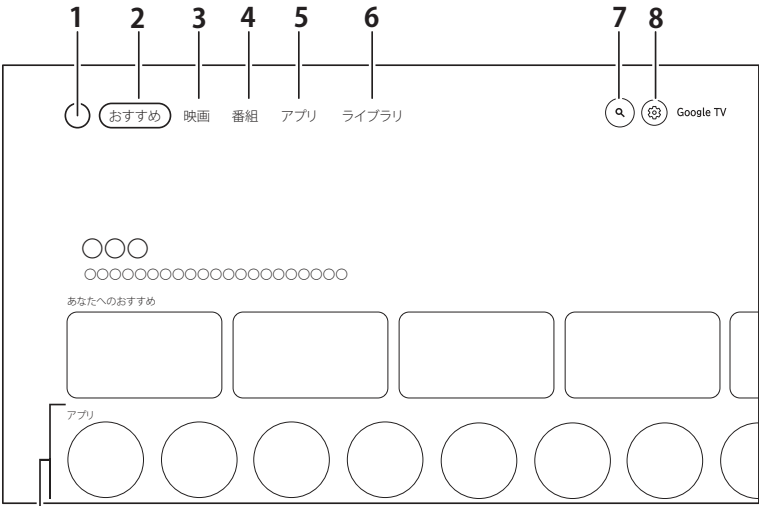
スマートテレビの操作

ホーム画面の操作のしかた

ホーム画面からアプリを選択して動作させたり、設定を変更したり、新しいアプリをインストールしたりすることができます。

ホーム画面のデザインはOSのバージョンアップなどにより変更される可能性があります。

《ホーム画面の例》



1 Googleアカウント
ⓂGoogleアカウントボタンを押したときと同じ

2 おすすめ

3 映画

4 番組

5 アプリ画面
アプリを検索することができます

6 ライブラリ
レンタル・購入したコンテンツが表示されます

7 文字検索 キーボード

8 設定
Ⓜ設定ボタンを押したときと同じ

9 アプリ
インストールされているアプリが表示されています

1 Ⓜ方向ボタンで項目を選択する

2 選択した項目でまちがいないときは、Ⓜ決定ボタンで確定させる

3 ひとつ前の選択画面に戻るときは、Ⓜ戻るボタンを押す 内容によって戻ることができない項目もあります。

4 おすすめ番組の各プレビューを選択すると、アプリが立ち上がる 前もってアプリを立ち上げて会員登録など済ませておくと、スムーズに観ることができます。

5 ホーム画面に戻るときはⓂホームボタンを押す

テレビ放送を表示する

ホーム画面からテレビ放送を表示するには、観たい放送のボタン(Ⓜ地デジ)地デジボタン、[BS]BSボタン、[CS]CSボタンを押してください。

アプリの追加（インストール）

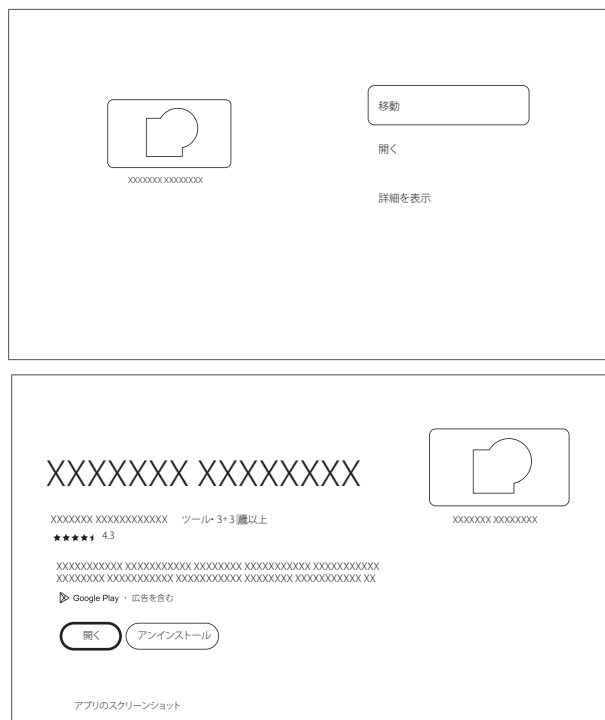
本機に初めから搭載されているアプリ以外に、Google Playストアからアプリをダウンロードして使用することができます。Googleアシスタント（音声検索）機能を使用するにはリモコンをペアリングする必要があります。

- 1 アプリ画面を選択する**
ホーム画面から「アプリ」を選択します。
- 2 アプリ画面からアプリを探す**
- 3 アプリを選択すると、そのアプリの情報が表示されるのでよく読み、インストールするときはインストールボタンを押す**
インストールするのに支払が必要なアプリもあります。画面の指示にしたがって手続きを完了してください。

アプリの削除（アンインストール）

使用しなくなったアプリを削除することができます。

- 1 アプリを選択し、○決定ボタンを長押しするメニューが表示されます。**
- 2 「詳細を表示」を選択する**
- 3 「アンインストール」を選択する**
「詳細を表示」が表示されない場合、現在削除することができません。



スマートテレビの操作（つづき）

ライブラリ

設定しているアカウントでレンタル・購入したコンテンツがここに表示されます。



映画・番組アプリなど検索する

文字入力またはGoogleアシスタントボタンを押してペアリングしたりリモコンマイクに話しかけると、検索することができます。



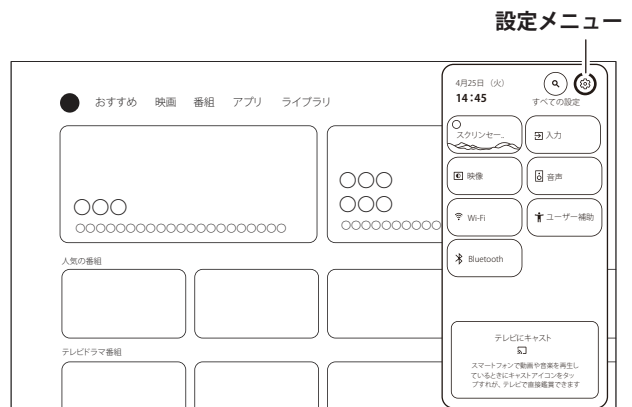
様々な設定

使いかたに合った設定にすることができます。画面のデザインはOSのバージョンアップなどにより変更される可能性があります。

- 1 ホーム画面から $\odot$ 方向ボタン右で $\odot$ 設定ボタンまで移動、もしくはリモコンの $\odot$ 設定ボタンを押す
画面右側にメニューが表示されます。
ここで表示されている、スクリーンセーバー、入力、映像、音声、Wi-Fi、ユーザー補助、Bluetoothは、それぞれのボタンを押すことにより、設定画面に入らなくても設定することができます。

- 2 $\odot$ 設定ボタンを押すと設定画面が表示されるので、内容を選択して設定する
 $\odot$ 方向ボタンで上下して選択し、 $\odot$ 方向ボタン右または $\odot$ 決定ボタンでさらに詳細な内容を表示することができます。

- 3 設定したあとは、 $\leftarrow$ 戻るボタン・ $\odot$ 方向ボタン左で1段階ずつ戻る、もしくは $\odot$ ホームボタンを押してホーム画面に戻る



搭載されているアプリ

本製品には最初から以下のアプリがインストールされています。

- **LiveTV**

テレビ放送視聴・録画するのに使用します。

- **Daily Manage**

システムの高速化をするのに使用します。

- **CastPlayTV**

Androidスマートフォンの画面のミラーリングやコンテンツをテレビで視聴するのに使用します。

利用にはMiracast機能に対応し、連携用アプリケーションが導入可能なスマートフォンに専用のアプリをインストールする必要があります。

- **Bluetooth Audio**

テレビをBluetoothスピーカーの代わりに使用するのに使用します。

- **Daily Play**

おすすめアプリを紹介します。

- **マルチメディアプレーヤー**

接続したUSBメモリーなどの画像などを表示するのに使用します。

- **LeanKeyboard**

外国語入力用仮想キーボードです。

- **Daily Key**

リモコン右下の  ショートカットボタンにアプリや機能を設定するのに使用します。

- **NETFLIX**

- **PrimeVideo**

- **YouTube**

- **U-NEXT**

- **ABEMA**

- **TVer**

- **Hulu**

- **Disney+**

- **YouTube Music**

- **DMM TV**

- **Lemino**

本書作成時点での表示内容をもとに説明しています。
テレビ受信やその他の表示や動作についてはそれぞれアプリ・OSによるものなので、それぞれがアップデートされることにより、本書に記載してある内容から変更になっていることがあります。

テレビの操作

テレビ放送を観る

1 観たい放送のボタン（地デジ**地デジボタン、**BS**BSボタン、**CS**CSボタン）を押す**

2 チャンネルを選局する

1. 数字ボタンでチャンネルをダイレクトに選局する（チャンネル登録されていない数字もあります）
2. **A** **チャンネル** **V** チャンネルボタンで順（逆順）にチャンネルを選局する
3. **3桁入力** 3桁入力ボタンを押してから、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力する
4. **番組表** 番組表ボタンを押して番組表を表示し、現在放送中の番組を選択し、「選局する」を選択する
※番組表でサブチャンネルを表示するには**サブメニュー**ボタンを押して、「サブチャンネル表示」を選択します。
5. テレビ放送受信中に**サブメニュー**ボタンを長く押してチャンネルリストを表示させ、**方向**ボタンで選局し、**決定**ボタンで切り換える
方向ボタンの上下で、地上波、BS、CSのチャンネルリストを選択できます
6. 本体の電源ボタンを押して「チャンネル+」または「チャンネル-」を選択し、長押しでチャンネルを送って選局する

3 音声切換をするときは音声切換**音声切換ボタンを押す**

二か国語放送や解説放送の有無などの音声を切り換えることができます。

4 字幕放送の入／切をするときは字幕**字幕ボタンを押す**

字幕放送のあるものを入／切することができます。

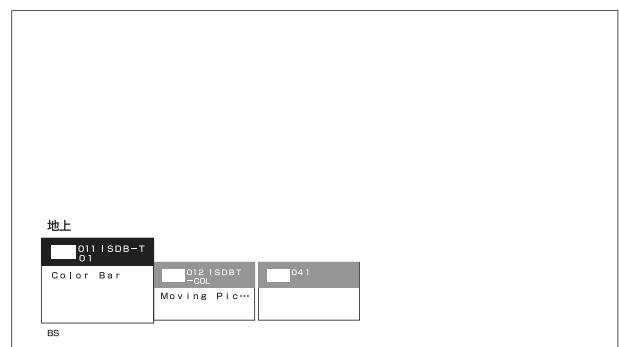
5 連動データ放送を表示するときはデータ**dボタンを押す**

データ放送は放送局により表示される内容が異なります。画面に表示された操作指示に従ってください。
(➡31)

6 現在視聴している放送番組情報などを確認するときは画面表示**画面表示ボタンを押す**

画面右上に放送局名・番組名・放送時間などが数秒表示され、その後チャンネルと時計のみ表示が続きます。

画面表示を消すときは、再度**画面表示**画面表示ボタンを押してください。



チャンネルリストでの選局

番組表を確認する

- 1 **番組表** 番組表ボタンを押す
現在受信中の放送波の最新の番組表が表示されます。
番組表は8日分表示することができます。

- 2 **観たい番組表のボタン** (**地デジ** 地デジボタン、 **BS** BSボタン、 **CS** CSボタン)を押す
左上の放送波の部分が変わり、番組表が変わります。

- 3 **方向ボタンで番組を選択し、決定ボタンを押す**と番組の詳細が表示される
左側の番組詳細情報で表示しきれていない部分は、**チャンネルボタン**で上下させて読むことができます。

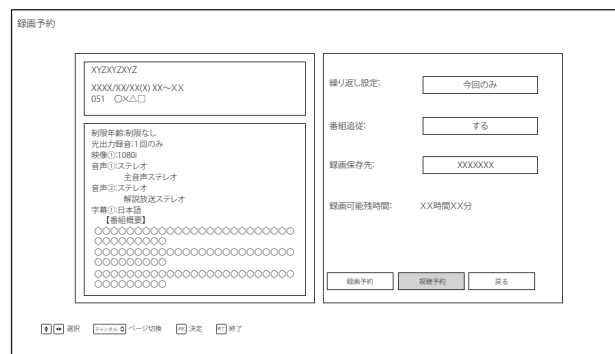
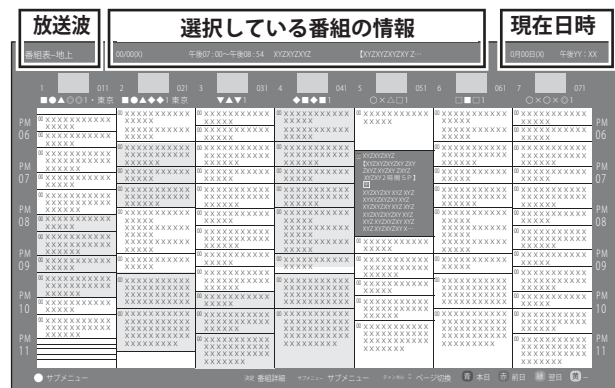
お知らせ

- ・「はじめての設定」直後は、まだ番組情報を完全に取得できていないため、すべてのチャンネル番組表が表示されない場合があります。リモコンの電源ボタンで電源を切った場合は、毎日自動的に番組情報を取得します。

視聴予約をする

- 1 **放送視聴中に番組表** 番組表ボタンを押す
現在受信中の放送波の最新の番組表が表示されます。
- 2 **視聴予約したい番組表のボタン** (**地デジ** 地デジボタン、 **BS** BSボタン、 **CS** CSボタン)を押す
左上の放送波の部分が変わり、番組表が変わります。
- 3 **方向ボタンで番組を選択し、決定ボタンを押す**と番組の詳細が表示される
左側の番組詳細情報で表示しきれていない部分は、**チャンネルボタン**で上下させて読むことができます。

- 4 画面右下の「録画予約」「視聴予約」「戻る」から **方向ボタン**で「視聴予約」を選択し、**決定ボタン**を押す
同じ番組を毎日、毎週など視聴する場合は、**決定ボタン**を押す前に「繰り返し設定」をすると、定期的に同じ番組を視聴予約することができます。
(今回のみ/毎日/毎週/月～木/月～金/月～土)
「番組追従」は、他の番組の影響で番組が始まるのが早くなったり遅くなったりしたときに対応する機能です。
番組にかかわらず、毎回同じ時間を希望する場合は、「しない」に設定してください。



- 5 **番組表に戻り、「この番組を視聴予約しました」が表示される**

番組表の視聴予約した番組の左側に①時計マークが付きます。

既に番組が放送中の場合は、その放送局に切り換わり、放送中の番組を表示します。

- 6 **設定した番組の時間になると、電源が入り、番組を視聴できるようになる**

既に電源が入っている状態では、チャンネルが切り換わり、視聴予約した番組になります。

※電源が完全に切れた状態(シャットダウンした状態)では、視聴予約機能は機能しません。

お知らせ

- ・ **メニュー** サブメニューボタンで番組検索や番組表のフォントサイズ、表示時間数などの設定ができます (➡ 45)。

データ放送

連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルでは、天気予報やニュース、番組案内などの連動データ放送を提供している場合があります。使用前にインターネットへの接続と設定を行なっておいてください。

- 1 **番組視聴中に  d ボタンを押す**
放送局により表示される内容が異なります。
画面に表示された操作指示に従ってください。
- 2 ** 方向ボタンで移動し  決定ボタンを押す**
選択した情報を見ることができます。
- 3 ** d ボタンを押すと通常画面に戻る**

データ放送について

- ・ デジタル放送は映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送を受信できます。
- ・ データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルとは独立した別のチャンネルで行なわれているデータ放送があります。

双方向サービスについて

- ・ インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます（本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません）。
- ・ 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

■お知らせ

- ・ データ放送取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- ・ 放送画面の操作説明などで、 d ボタンは「データ放送ボタン」、「データボタン」と表示される場合があります。
- ・ 地上デジタル放送では現在ラジオ放送を休止しています。（2011 年 3 月以降）
- ・ テレビ放送チャンネルとは独立した別チャンネルで行なわれているデータ放送の中には、本機で利用できないものもあります。
- ・ USBハードディスクに録画した番組を再生している時、データ放送はご利用できません。

テレビの操作（つづき）

便利な機能

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「スタンバイ」の状態になります。

- 1 ⑤設定ボタンを押して、設定メニューを表示させ、「システム」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 2 「電源と省エネ設定」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 3 「スリープタイマー」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 4 ④方向ボタンで、電源を「切」にするまでの時間を選んで③決定ボタンを押す

 入力切替ボタンを押して使用する、ショートカット機能にスリープタイマーがあり、さらに容易に設定することができます（⇒ 32）。

ディスプレイオフ機能を使う

画面を表示させず音の情報のみ必要とする場合、ディスプレイオフ機能を使用すると、バックライト LED などの消費電力が抑えられます。

- 1 ⑤設定ボタンを押して、設定メニューを表示させ、「映像と音声」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 2 「画面」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 3 「ディスプレイオフ」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 4 再度画面表示させるときは、③決定ボタンを押す

 入力切替ボタンを押して使用する、ショートカット機能にディスプレイオフ機能があり、さらに容易に設定することができます（⇒ 32）。

無信号電源オフ機能

放送信号・外部信号がなくなって、操作がない状態が約 10 分続いた場合、電源をシャットダウンします。シャットダウンする 1 分前にメッセージが表示されるため、キャンセルする場合は③決定ボタンを押してください。

省エネ設定をする

省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

- 1 ⑤設定ボタンを押して、設定メニューを表示させ、「システム」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 2 「電源と省エネ設定」を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
- 3 各項目を④方向ボタンで選び、③決定ボタンを押す
電源オン時の画面

本機の電源を入れたときに表示する画面を設定します。

省エネツール

画面をOFFにする

無操作状態で設定した時間が経過したとき、電源が切れてスタンバイになります。

「画面のOFFを許可する」を切にしてもビデオ再生状態以外は設定した時間でスタンバイ状態になります。

スタンバイになる機能を無効にするには、「画面をOFFにする時間」を「なし」にしてください。

スタンバイになる5分前にメッセージが表示されるため、キャンセルする場合は、任意ボタンを押します。

スリープタイマー

電源が切れてスタンバイになるまでの時間を設定できます。

スタンバイになる約2分前にメッセージが表示されるため、キャンセルする場合は、③決定ボタンを押してください

オートスタンバイ

4時間無操作で自動的に電源が切れてスタンバイ状態になります。

高速起動

リモコンの電源ボタンで電源を切ったとき、スタンバイ状態にするか、電源を切る（待機状態）かを選択します。

- ・ 番組の録画機能を使用する・番組表の自動取得機能を使用するときは、高速起動を「オン」にしてください。
- ・ オフにすると番組表など自動取得機能などが働かないため、省エネになります。

- 4 設定後、⑥戻るボタンを何回か押して元の画面に戻す

外部接続機器を表示する

- ・ 本機の外部入力端子（HDMI 入力、AV 入力）に接続したビデオや DVD・ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しむ場合は、以下の操作をします。
- ・ 機器の接続については、「外部機器の接続」(→ 17)をご覧ください。

1 使用する外部機器の電源を入れる

2 入力切替ボタンを押す

入力切替ボタンを押すと画面左にソース・ショートカット画面が表示されます。

3 ◎方向ボタンで右方向に移動し、接続している端子を選んで○決定ボタンを押す

- ・ ソースで「HDMI」や「AV」は、右側に隠れているので、◎方向ボタンで右方向を押すと、右側に HDMI などが出てきます。
- ・ 接続する機器によって名称が変更になることがあります。
- ・ ARC対応機器は、HDMI1端子に接続してください。他の端子はARCに対応していません

4 接続した機器を操作する

- ・ 対応している入力信号でも、映像が正しく表示されないことがあります。

HDR 機能について

HDR（ハイダイナミックレンジ）対応機器から HDR10規格の映像が入力されると、自動的にHDRモードになります。

- ・ HDR対応機器との接続には、18Gbps以上に対応したハイスピードHDMIケーブルを使用してください。
- ・ HDRモードに切り換わると、画面左上に「HDR」と表示されます。
- ・ ケーブルや接続機器の相性によってはHDRに切り換わらないことがあります。

画面モードの設定

映像の表示サイズ変更できます。

1 ○決定ボタンを押す

クイックボタン画面が表示されます

2 「画面モード」を選択し、○決定ボタンを押す

○決定を押すたびに表示サイズを切り換えます

自動 : 入力映像に合わせて自動でサイズを切り換えます

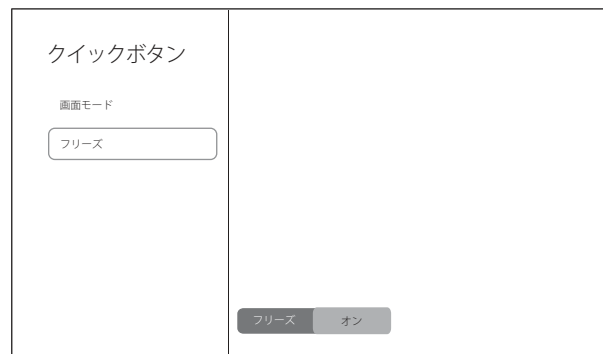
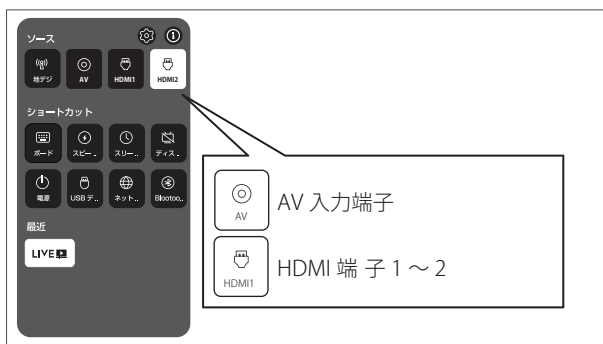
ズーム : TVの画像サイズに合わせて表示します

パノラマ : 4 : 3の映像を16 : 9に引き伸ばして表示します

P2P : 映像を拡大縮小せずそのまま表示します

16 : 9 : 16 : 9で表示します

4 : 3 : 4 : 3で表示します



画面の静止

画面を静止できます。

1 ○決定ボタンを押す

クイックボタン画面が表示されます

2 「フリーズ」を選択し、○決定ボタンを押す

○決定を押すたびにオン、オフを切り替えます

⚠ ご注意

- ・ クイックボタン画面が表示されないときは、HDMI制御設定をオフにしてください。

外部接続機器を表示する（つづき）

ショートカット機能

ソース選択画面の下にある、ショートカット機能を使うと、一部の機能がショートカットに登録されており、素早く機能を使うことができます。

- 1 **入力切替ボタンを押す**
入力切替ボタンを押すと画面左にソース・ショートカット画面が表示されます。

- 2 **方向ボタンで各項目を選択し、決定ボタンを押す**

バーチャルキーボード

画面に表示されたボタンで製品を操作できます。

スピードアップ

決定ボタンを押すと実行速度向上が図れる場合があります。

スリープタイマー

設定時間後に電源が切れて、スタンバイ状態になります。

方向ボタンで、オフ・10・30・60・90・120(分)を選択し、決定ボタンを押します。

設定ボタンのシステム内「電源と省エネ設定」でも設定できます。

ディスプレイオフ

画面表示をオフにします。ディスプレイオフ状態のときに決定ボタンを押すと元に戻ります。

電源

方向ボタン上下方向で「電源」「再起動」を選択、決定ボタンを押して実行できます。《※録画中注意》

USBデバイス

USBデバイスを指定し、メディアプレーヤーを起動します。

ネットワーク

ネットワーク設定画面になります。

Bluetooth

Bluetoothのペアリングを行ないます。

ビデオゲームモード

映像の遅延を抑えた設定に切り換えます。

方向ボタンで、自動・オフ・オンを選択し、

決定ボタンを押します。

映像

映像設定画面を表示します。

音声

音声設定画面を表示します。

アプリ

アプリ一覧を表示します。

アプリの管理

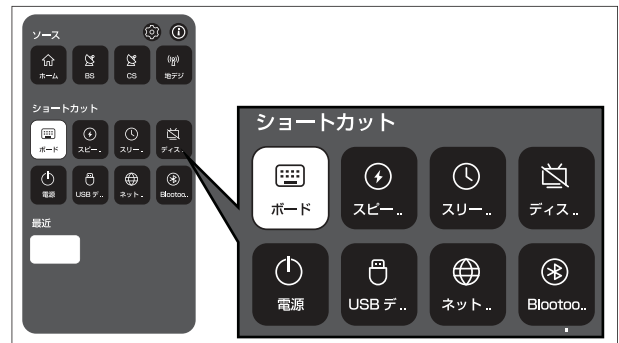
アプリの管理画面を表示します。

健康

健康設定画面を表示します。

設定ボタン

ソースやショートカットの並べ換えをします。



Bluetoothの設定

Bluetooth機器を接続して使用することができます。

「無線接続(Bluetooth/Wi-Fi)について」 (6ページ) もお読みください。

- 1 設定メニューもしくは設定ボタンを押して、「リモコンとアクセサリ」を開く
- 2 接続したいBluetooth機器の電源を入れて接続できる状態にして、「アクセサリのペア設定」を押すBluetooth機器を検索します。
- 3 接続したいBluetooth機器の名前が表示されたら、Bluetooth機器の名前を選択する
選択してしばらくすると、「Bluetoothペア設定リクエスト」画面が表示されるため、「ペア設定」を選択します。
接続したい機器が表示されない場合は、接続(ペアリング)状態になっていないか、すでに他の機器に接続されている、または遠すぎるなどの可能性があります。
- 4 「リモコンとアクセサリ」内に接続した機器名が表示されていることを確認する

△ ご注意

- ・ スピーカーやヘッドホン機器などを接続した場合、音量にご注意ください。思いがけぬ大音量になっていることがあります。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

本機左側面のUSB端子（録画用）に接続した **USBハードディスク** に**デジタルテレビ放送番組**を録画できます。
(ラジオ放送、データ放送、外部入力（HDMI入力、ビデオ入力）で視聴している動画の映像・音声は録画できません)

※ デジタル放送を録画中に、別のデジタル放送は録画できません。

- USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク ^(注)	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • USBハードディスクを登録します。 • USBハードディスクの残量を確認します。 • 録画リストの「すべて」のタブで「録画番組数」を確認します。 ※ 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を消去します。

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、USBハードディスクの「取り外し」を行なってから、接続しなおしてみてください。
- 本機で使用可能なUSBハードディスクは、セルフパワー方式の容量最大8TBまでです。

⚠️ ご注意

• USBハードディスクについて

USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。
本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

■ お知らせ

- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜くと、途中まで録画した番組は正しく保存されません。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

録画用 USB ハードディスクの接続をする

⚠️ご注意

- ・ パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していた USB ハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- ・ 本機で使用していた USB ハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
- ・ 本機に接続した USB ハードディスクを取り外す場合は、未登録の機器を含めてメニューの「テレビ設定」画面から外付ハードディスクの「取り外し」の操作をしてください。
- ・ USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USB ハードディスクが故障したりする原因となります。

USB ハードディスクを接続する

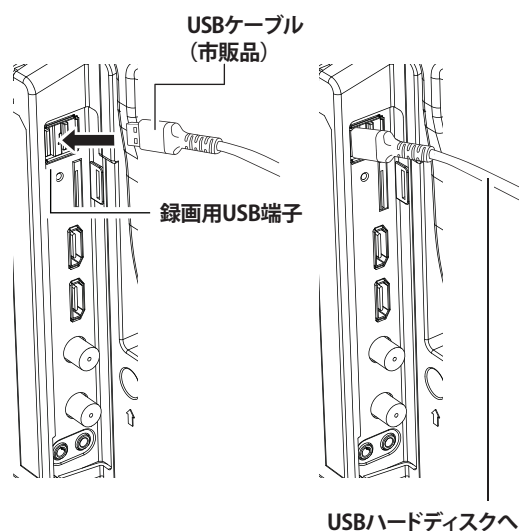
本機に取り付けられる USB ハードディスクは 8 台まで登録しておくことができます。

USB ハブは使用しないでください。

USB ハードディスクは、USB 端子に接続します。

■お知らせ

- ・ 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。
- ・ 登録されていない HDD を接続して電源を入れると、登録が始まります。



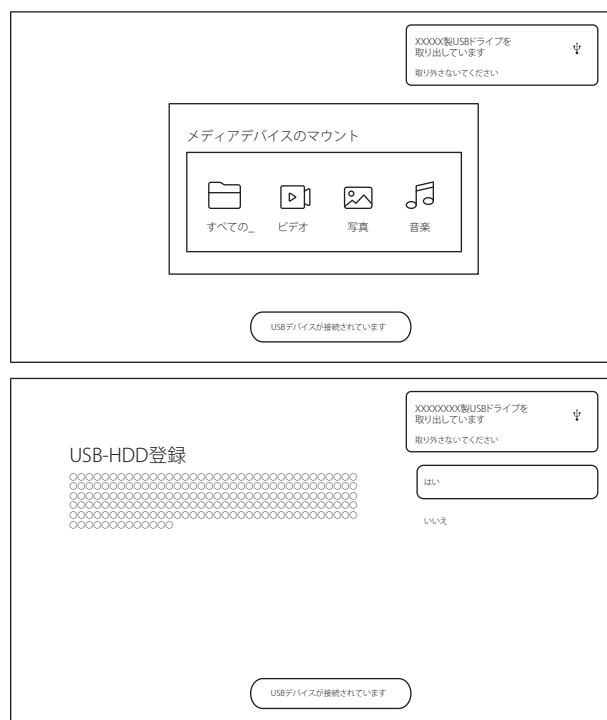
USB ハードディスクを登録する

- ・ 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、メディアデバイスのマウント画面が表示されたあと、しばらく待つと「HDD登録」画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 ◎方向ボタンで「はい」を選び、○決定ボタンを押す

登録しないときは「いいえ」を選びます。

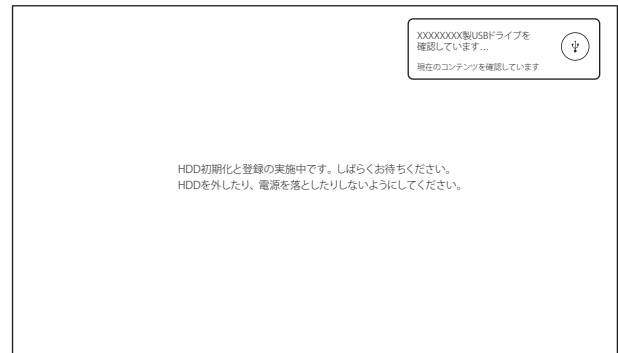
「はい」を選択すると登録の処理が始まります。



録画用 USB ハードディスクの接続をする

2 登録処理終了後、「登録しました」と表示されたら、○決定ボタンを押す

- フォーマットの原因でUSBハードディスクが認識されなかった場合、「USB-HDD登録」画面で「ストレージ設定へ」を選択して、「リムーバブルストレージとしてセットアップ」から「フォーマット」を行なってください。
フォーマットが終わると、メディアデバイスのマウント画面が表示され、しばらく待つと「USB-HDD登録」画面が表示されます。手順1、2の順に登録処理を行なってください。



USB ハードディスクの設定をする

USBハードディスクの情報や初期化、登録解除、本機からの取り外しなどを行ないます。

- 1 テレビ受信画面のときに、**サブメニュー**ボタンを押して「テレビ設定」画面を表示させ、**方向**ボタンで「録画機能」から「USB-HDD 設定」を選ぶ
- 2 USBハードディスク名が表示されるため、接続しているこれから処理したいUSBハードディスクを **方向**ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

3 確認したい内容を**方向**ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

USB-HDD情報

- USBハードディスクの容量・録画可能残時間などを確認できます。
- 「HDD名」で**決定**ボタンを押すと、USBハードディスク名を変更できます。他のUSBハードディスクと間違わないように、わかりやすい名前にすることができます。

初期化

- 初期化することでそれまで設定されていたUSBハードディスク上の情報などがすべて消去され、本機用のHDDとなります。
- 初期化すると元に戻すことができません。



△ ご注意

- 初期化中はUSBハードディスクを取り外したり、電源を抜いたりしないでください。故障の原因となります。

登録解除

- 登録していたUSBハードディスクを他の用途に使用するときなど登録解除を行なってください。
- 登録しているUSBハードディスクが8台を超えて他のUSBハードディスクを登録したいときに、登録解除すると登録ができるようになります。
- 登録解除をすると、再度登録しても録画した番組などをみることはできなくなります。

取り外し

- 本機の電源が入った状態でUSBハードディスクを取り外す場合は、この「取り外し」処理を行なってください。「安全に取り外しました」が表示されたら**決定**ボタンを押して、USBハードディスクを取り外してください。

録画をする

テレビ放送番組を録画するときは、以下の操作をします。
※ USB ハードディスクに録画中はこの操作はできません。

すぐに録画を開始する

1 テレビ放送を見ているときに **録画ボタン** を押す

2 録画を開始する

- 画面表示ボタンを押すと、画面右上に録画状態などが表示されます。
- 録画開始後、チャンネルを変更したり電源を切っても、そのまま録画が続きます（裏録画）。

3 「録画が完了しました」画面が出るので、「確認」または「録画リスト」を選び、**決定ボタン**を押す

- 録画が停止します。
- 録画している番組の終了時に録画を終了します。

△ ご注意

● 録画ボタンで録画中に、すでに予約済の予約録画番組の開始時間になると現在の録画は停止します

- 予約録画より現在の録画を優先したいときは、予約録画番組の開始約1分前に表示される「録画の準備を開始します」画面で「削除」を選び、**決定ボタン**を押すと予約録画は削除され、現在の録画が継続されます。

番組単位で録画をする

1 テレビ放送を見ているときに **番組表** を押す
番組表が表示されます。

2 録画する番組を **方向ボタン** で選び、**決定ボタン** を押す

「番組詳細」画面が表示されます。

- 現在放送中の番組も選ぶことができます。
- 1週間後までの予約ができます。
- 番組表が受信されていない場合は、利用できません。しばらくたってから確認してください。

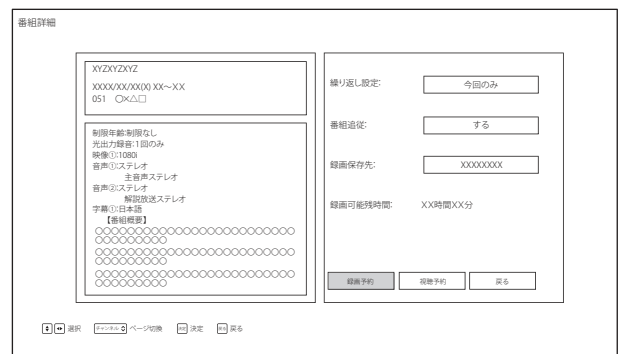
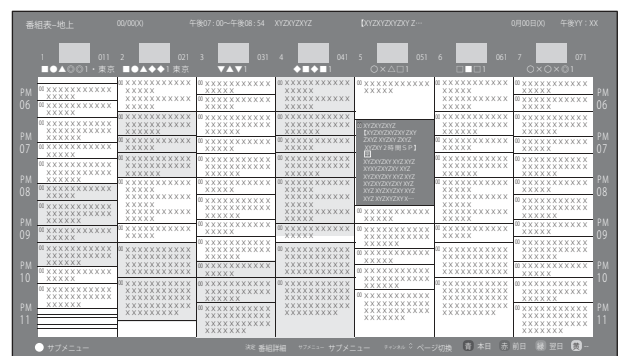
3 **方向ボタン** と **決定ボタン** で「繰り返し設定」・「番組追従」を設定して「録画予約」を選び、**決定ボタン** を押す

放送中の番組の場合「録画する」を選びます。

- 他の録画予約と時間が重なっているときは、予約を受け付けません。他の録画予約を確認してどちらかをキャンセルしてください。
- 同じ番組を毎日、毎週など録画する場合は、「繰り返し設定」をしてください。定期的に同じ番組を録画予約することができます（今回のみ／毎日／毎週／月～木／月～金／月～土）。

先に録画開始されたものが優先されます

本機では録画時間重複しての録画予約ができないようになっています。しかし、放送時間が変更されて番組追従機能で前の番組の終了時間が遅くなり、次の予約番組の時間にかかった場合、次の予約番組は録画されません、番組を確実に録画したい場合は、直前の予約番組の番組追従機能を「しない」にしておきます。



- ・「番組追従」は、他の番組の影響で番組が始まるのが早くなったり遅くなったりしたときに対応する機能です。番組にかかわらず、毎回同じ時間を希望する場合は、「しない」に設定してください。

4 画面右下の「録画予約」「視聴予約」「戻る」から◎方向ボタンで「録画予約」を選択し、○決定ボタンを押す

5 番組表に戻り、「この番組を録画予約しました」が表示される

番組表の録画予約した番組の左側にHDDマークが付きます。

6 設定した番組の時間になると、番組の録画を開始します

※電源が完全に切れた状態(シャットダウンした状態)では、録画予約機能は機能しません。

日時を指定して予約する

- ・特定の日時を指定して予約する場合や番組表と違った録画をしたい場合（録画時間を1分のばしたい、録画は半分まででいい、など）、日時を指定して予約することができます。
- ・番組追従機能はなく、番組表が変更になっても、そのまま録画されます。

1 放送視聴中に「」サブメニューボタンを押す

画面左側に「テレビ設定」メニューが表示されます。

2 テレビ設定メニューから「録画機能」を選択し、その中から「予約リスト」を選択する

「すべて」が表示されており、視聴予約・録画予約の一覧が表示されます。

◎方向ボタン左右で「すべて」「録画予約」「視聴予約」「実行結果」を選択・表示できます。

3 青ボタンで新規予約の画面を出し、◎方向ボタンと○決定ボタンで放送時間とチャンネル、「繰り返し設定」を設定して、下にある「録画予約」を選び、○決定ボタンを押す

- ・日時の設定は繰り返し設定のように、押して選択肢を表示して選ぶような設定方法になっています。
- ・録画時間が6時間を超える日時の設定はできません。

予約リスト 18/48

実行	予約種類	放送の種類	番組名	日付/時刻	情報
	地上	011	XXXXXXXXXX	XXXX/XX/XX (X) 1回のみ XX:XX-XX:XX	
	地上	011	XXXXXXXXXX	XXXX/XX/XX (X) 繰り返し XX:XX-XX:XX	
	地上	000	XXXXXXXXXX	XXXX/XX/XX (X) 繰り返し XX:XX-XX:XX	録画先 XXXXXX
	地上	011	XXXXXXXXXX	XXXX/XX/XX (X) 繰り返し XX:XX-XX:XX	録画先 XXXXXX
	地上	011	XXXXXXXXXX	XXXX/XX/XX (X) 繰り返し XX:XX-XX:XX	録画先 XXXXXX
	地上	011	XXXXXXXXXX	XXXX/XX/XX (X) 繰り返し XX:XX-XX:XX	録画先 XXXXXX








新規予約

XXX/XXX XX-XX-XX 地上 011

繰り返し設定:

録画保存先:

録画可能残時間: XX時間XX分






新規予約

XXX/XXX XX-XX-XX 地上 033

繰り返し設定:

録画保存先:

録画可能残時間:






録画した番組を再生する

USB ハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

録画した番組の再生のしかた

1 録画リストボタンを押す

録画リストが表示されます。

- USBハードディスクを接続してすぐ録画リストを表示した場合、表示が遅くなることがあります。
- 現在接続されているUSBハードディスクが表示されます。

2 必要に応じて◎方向ボタンで録画リストの表示を選び、◎決定ボタンを押す

- 「すべて」、「未視聴」、「視聴済」のタグが切り替わります。

3 見たい番組を◎方向ボタン上下で選び、◎決定ボタンを押す

選んだ番組の再生が始まります。

右図の操作ボタンによって操作してください。

- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生するか選択できます（レジューム再生）。
- スkipボタンに対応するチャプターは、デフォルトで10分となっており、チャプター間隔は変更することができます（オートチャプター機能）。
- 本機は録画中の番組の再生「追っかけ再生」には対応していません。
- 番組を最後まで再生し終わると、録画リストに戻ります。

4 番組再生を終了するには、 停止ボタンまたは 終了ボタンを押す

録画リスト画面に戻ります。

オートチャプター機能

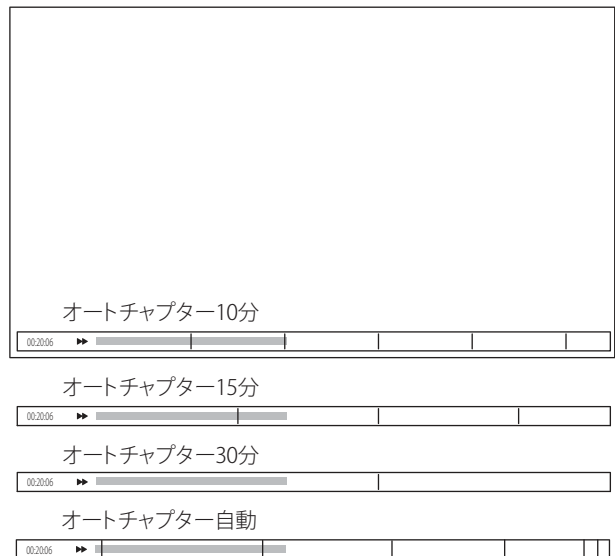
スキップボタンでスキップする時間を設定することができます。

1 放送視聴中に サブメニューボタンを押す 画面左側に「テレビ設定」メニューが表示されます。

2 テレビ設定メニューから「録画機能」を選択し、その中から「オートチャプター設定」を選択する デフォルトで10分に設定されており、15分・30分・自動・しないに変更することができます。

3 戻るボタンもしくは 終了ボタンを何度か押して放送画面に戻る

ボタン	内 容
	一時停止、早送り/早戻し再生、1.3倍速再生から通常の再生に戻します • 放送番組の視聴中に押すと、USB/ハードディスクの録画リストが表示されます • 再生中に押すと1.3倍速再生になります
	再生中に押すと一時停止になります
	再生を終了し、録画リストに戻ります
	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります） ◎方向ボタン右も同様に働きます
	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります） ◎方向ボタン左も同様に働きます
	次のチャプターの先頭にスキップして再生します
	現在のチャプターの先頭または前のチャプターにスキップして再生します。



本機のチャプター機能は録画時に設定されるものではないので録画された後でも変更可能です。

「自動」を選択した場合は映像や音声の変化を自動的に検知してチャプターを作成します。
番組によっては自動チャプター機能が正しく動作しない場合があります。

メディアプレーヤーの使用

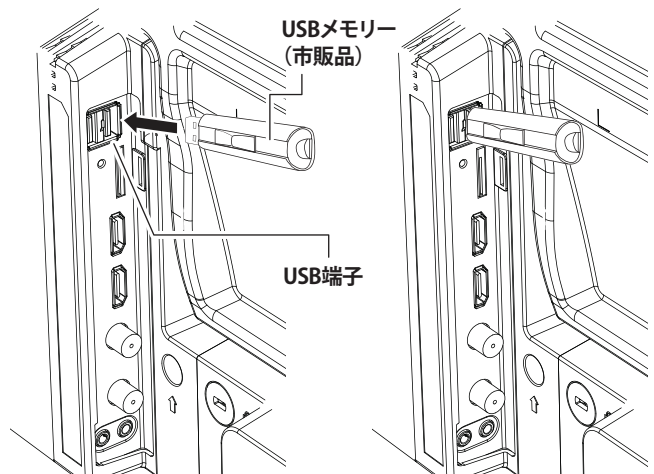
USBメモリーの閲覧

音楽・画像・動画を記録したUSBメモリーをUSB端子に接続すると、内容を閲覧・再生することができます。
「USBメモリーについて」(6ページ)もお読みください。

⚠️ ご注意

テレビ放送画面のときにUSBメモリーを接続すると、USBハードディスクドライブと認識され、HDD登録画面が表示されます。誤って登録すると、USBメモリー内の情報はすべて消去されるので、ご注意ください。

USBメモリー接続例



1 USB端子にUSBメモリーを接続する

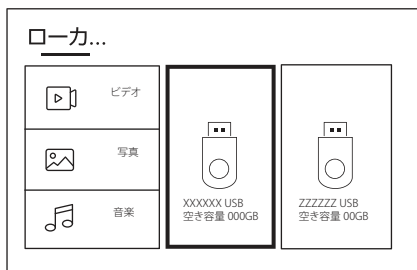
2 ホームボタンを押してホーム画面に移動



「アプリ」から「マルチメディアプレーヤー」アプリを選択・起動する

使用する頻度が高い場合は、リモコンの  ショートカットボタンに登録することもできます。

3 USBメモリーを選択する



左の「ビデオ」「写真」「音楽」を選択すると、種類のファイルのみ表示されます。

4 方向ボタンと決定ボタンでファイルを探す

5 ファイルをクリックすると表示・再生が始まる

方向ボタンでファイル選択、決定ボタンで選択(表示・再生)する

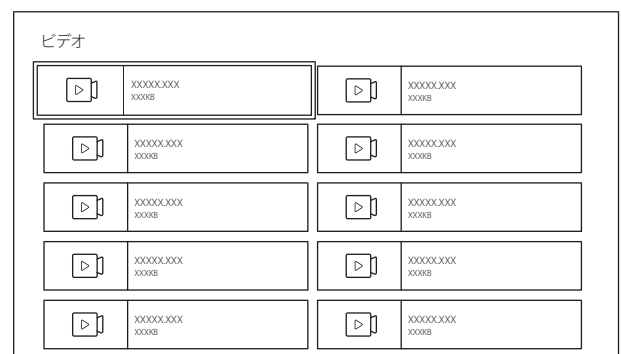
ビデオ

再生中に方向ボタン上を押すと、左側にメニューが現れます(再生リスト/アスペクト比/オーディオトラック/字幕/再生順序/メディア情報)。それぞれ選択・設定や表示ができます。

※録画した番組は再生できません

写真

表示中に方向ボタン上または下を押すと、一覧が下に表示され、決定ボタンを押すと、左側にメニューが現れます(バックグラウンド音楽/縮小/拡大/再生/回転/グラフ)。それぞれ選択・設定や表示ができます。



音楽

再生中に⓪方向ボタン上を押すと、左側にメニューが現れます(再生リスト/再生順序)。それぞれ選択・設定や聴取ができます。

6 「マルチメディアプレーヤー」アプリを終えるには

Ⓜホームボタンを押してホーム画面に戻す

「マルチメディアプレーヤー」アプリを終了させてからUSBメモリーを抜いてください。

⚠ ご注意

- ・ファイル再生中のUSBメモリーの抜き差しはしないでください。ファイル破損の原因になります。
- ・ファイル種別は、拡張子によって分別されています。万一適切ではない拡張子が付いたファイルを再生した場合、異音発生によりスピーカーの破損の原因になります。
- ・「マルチメディアプレーヤー」アプリのバージョンアップにより、画面のアイコンや操作方法が変わることがあります。

ショートカットボタン

リモコンの右下のⓀショートカットボタンは、アプリやシステムの機能を登録することができます。

1 Ⓚショートカットボタンを押す

Ⓚショートカットボタンには、DailyKeyアプリ(ショートカットの設定アプリ)が設定されています。

2 ⓪方向ボタン左右で多機能・単機能を選択する

多機能 Ⓚショートカットボタンを押した後
⓪方向ボタンの上下左右で呼び出す機能を登録する。(最大4つ)

単機能 Ⓚショートカットボタンを押したときに呼び出す機能を登録する

画面左のリモコンパネルでショートカット機能を登録するボタンを選択する。

3 ⓪方向ボタン左右でアプリ・システム機能を選択する 下に設定できるアプリ、システム機能が表示されます。

4 ⓪方向ボタン上下左右でアプリ・システム機能を選択し、Ⓛ決定ボタンを押す。

左の部分に選択したアプリ・システム機能が表示されます。

5 ⓪方向ボタン上下左右で画面下の「設定」を選択し Ⓛ決定ボタンを押し、登録を完了します。

サポートされるファイル形式

写真

jpg/jpeg/png/bmp/gif

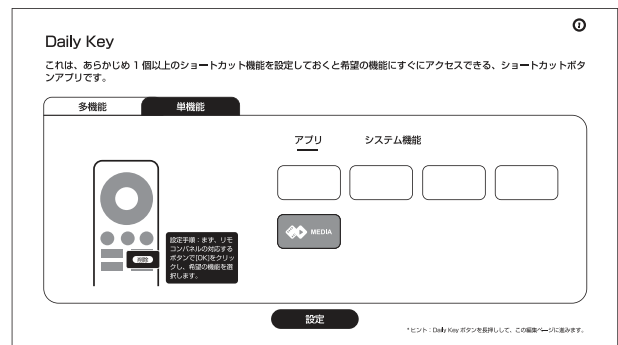
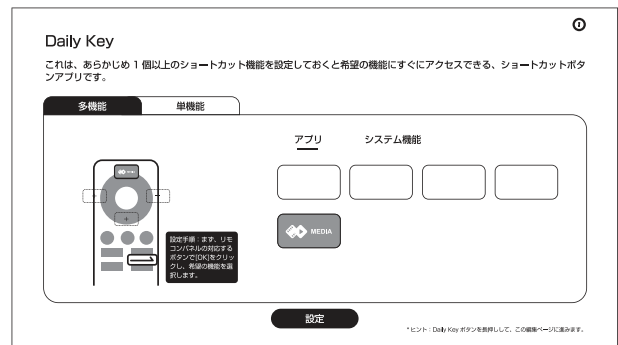
音楽

mp3 / AAC / m4a / flac / amr / mp2 / mpge /
ogg / AC3 / wav

ビデオ ファイルによっては字幕やチャプター機能がはたらかない場合があります。

avi / dat / mpeg / mpe / mpg / vob / mp4 / mov
/ mkv / ts / tp / trp / m2ts / mts / m4v / f4v /
flv / asf / 3gp / webm

上記のファイル形式すべての表示・再生を保証するものではありません。



6 設定を変更する場合は、Ⓚショートカットボタンを長く押し、「DailyKey」アプリを起動して、左のリモコンパネルで変更するボタンを選び、Ⓛ決定ボタンを押して再度設定しなおす

削除されて左側に何も表示されていない場合、Ⓚショートカットボタンには、DailyKeyアプリが再度設定されます。

■ お知らせ

- ・アプリ以外でも、例えばビデオ機器を接続しているHDMI1端子を設定すると、順を追って入力切替をしなくても、即座にHDMI1に切り換えることができますようになります。

各種設定

設定できる項目

⊙設定ボタンで設定できる項目を示しています。

本機搭載のシステムがバージョンアップすると、設定できる項目・名前が変化することがあります。

設定			内容
デバイス名の設定			
デバイス名の設定			本機のデバイス名の表示、変更をすることができます
チャンネルと入力			
チャンネル	郵便番号設定		現在放送されている局を順番にスキャンし登録します
	地域		入力切替画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	地上スキャン		地上デジタルで現在放送されている局を順番にスキャンし登録します
	B S スキャン		B S で現在放送されている局をスキャンし登録します
	C S スキャン		C S で現在放送されている局をスキャンし登録します
	地上アッテネータ		アッテネーター設定を行います
	B S / C S アンテナ電源		B S / C S アンテナへの給電の設定を行います
外部入力	HDMI 2		入力切替画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI 1		入力切替画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	AV		入力切替画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI制御		HDMI端子に接続した機器を操作できるようにします
		デバイスの自動電源オフ	本機の電源切/スタンバイにしたとき接続機器を電源オフにします
		テレビの自動電源オン	接続機器の電源を入にしたとき、本機の電源をオンにします
	ビデオゲームモード		映像の遅延を最小限におさえ、ゲームのレスポンスを重視した設定になります (外部機器を接続しているときに設定可能)
	HDMI EDID/バージョン		HDMI EDID/バージョンの設定をします (HDR映像を表示する場合 EDID 2.0または2.1、映像が出ない場合、EDID 1.4にします)
	CECデバイスリスト		CEC デバイスリストを表示します
映像と音声			
映像	映像モード		視聴する映像に合わせて映像モードを選べます
	明るさ自動調整		画面の明るさに基づいて自動的に明るさを調整します
	画面の明るさ		画面の輝度レベルを調節できます
	明るさ		明るさを調節できます
	コントラスト		コントラストを調節できます
	色の濃さ		色の濃さを調節できます
	色合い		色合いを調節できます
	シャープネス		シャープネスを調節できます
	ガンマ		映像の明暗のバランスを調節できます
	色温度	色温度	色温度や赤緑青の色調を調節できます
	ホワイトバランス補正	有効	ホワイトバランスを調節できます
	詳細設定	デジタルノイズリダクション	現在のフレームと前のフレームの違いを比較して、画像の動的なノイズを低減します
		アダプティブブルーマコントロール	画像信号の輝度レベルを自動的に調節します
		ローカルコントラストコントロール	画像の明るさを調節して、コントラストを上げます
		MPEGノイズリダクション	同じフレーム内の隣接するピクセルのデータを比較して、画像のスタティックノイズを低減します
		DIフィルムモード	フィルムソースの映像のとき、ラインごとの信号に補間してインターレース効果やジャダーなどを改善します
		色空間	色の再現範囲を調節します
	カラーチューナー		色調を調節できます
	Film Makerモード		制作者の意図に合わせて不要な処理を無効にします
	リセット		すべての映像設定をリセットします
画面	画面モード		16 : 9 / 4 : 3 / パノラマ/ズーム/P2 P / 自動など切り換えることができます
	ディスプレイオフ		画面の表示をオフにします 決定ボタンを押すと元に戻ります

設定			内容
音声	音声モード		音声モードを選択できます
	バランス		左右のスピーカーの音量バランスを調節できます
	低音		低音を調節できます
	高音		高音を調節できます
	DTS Studio Sound		サラウンドとTruVolumeを設定できます
	自動音量		音量の自動調節をするか設定できます
	スピーカー		スピーカーから音を出力するか設定できます
	ダイアログエンハンサー		セリフやボーカルを聴こえやすく調節できます
	音声リセット		すべての音声設定をリセットします
音声出力	デジタルオーディオ出力		デジタル音声出力のフォーマットを設定できます
	デジタルオーディオディレイ		デジタル音声出力からの音声遅延を調節できます
ネットワークとインターネット			
Wi-Fi	利用可能なネットワーク		現在利用できるWi-Fiを表示します
	新しいネットワークを追加		Wi-Fiネットワークの名前を手動で入力して追加できます
	常にスキャン		Wi-Fiがオフになっていても、Googleの位置情報サービスや他のアプリでネットワークをスキャンします
	イーサネット		有線ネットワークの接続状態を表示します
	プロキシ設定		プロキシの設定をします
	IP 設定		IPアドレスの設定をします
	起動設定		本機の電源を遠隔操作するネットワークを設定します
アカウントとログイン			
ログインしている アカウント名	プロフィールのロック		アカウント設定をロックして設定を保護します
	サービス		ログインしているGoogleアカウントでおすすめコンテンツの選定に使用されるアプリケーションを設定できます。
	コンテンツの設定		映画やテレビ番組を評価して、コンテンツのおすすめの表示精度を上げることができます
	動画を自動再生する		動画を自動的に再生するか設定します
	非表示の購入またはレンタルしたコンテンツ		特定のコンテンツがライブラリに表示されないように設定できます
	支払いと購入	購入時の認証方法	本機でコンテンツを購入する時の認証方法を設定できます
	Googleアシスタント	音声操作	音声操作のオン/オフやGoogle検索の結果から「露骨な表現を含むコンテンツ」を除外するなどの設定ができます。
	Google Home	ホームパネル	Google Home ホームパネルの画像を変更することができます
	アプリ専用モード		ホーム画面でおすすめコンテンツや見たいもののリストの機能を非表示にできます
	削除		アカウントを削除します
アカウントを追加する			本機で使用するアカウントを追加できます
子どもを追加			本機で使用する子どものアカウントを追加できます
プライバシー			
位置情報			Googleの位置情報サービスの設定ができます
使用状況と診断			デバイス、アプリ、Google Castの障害レポートや使用状況データなどの診断情報をGoogleに自動的に送信するか設定できます
広告			広告IDのリセット、削除ができます
エンドユーザー使用許諾契約			エンドユーザー使用許諾契約が表示されます
Googleアシスタント			音声操作のオン/オフやGoogle検索の結果から「露骨な表現を含むコンテンツ」を除外するなどの設定ができます
お支払いとご購入			本機でコンテンツを購入する時の認証方法を設定できます
アプリの権限			アプリケーションに割り当てられた権限が確認できます
特別なアプリアクセス			特別な権限が必要なアプリケーションの確認や設定ができます
セキュリティと制限			提供元不明なアプリのインストールを許可するか設定します
アプリ			
アプリをすべて表示			各アプリケーションの表示、キャッシュの削除やアンインストールなどの設定ができます
アプリの権限			アプリケーションに割り当てられた権限が確認できます
特別なアプリアクセス			特別な権限が必要なアプリケーションの確認や設定ができます
セキュリティと制限			提供元不明なアプリのインストールを許可するか設定します

各種設定（つづき）

設定			内容
システム			
ユーザー補助	字幕		字幕の設定をします。特定のアプリには適用されない場合があります
	高コントラストテキスト		本機のフォントを見やすくする機能です
	テキスト読み上げ		Googleの音声サービスの設定をします
	ユーザー補助のショートカット		ユーザー補助機能のショートカットを有効にしている場合、戻るボタンと下ボタンの両方を3秒間押し続けると、選択したユーザー補助機能(TalkBack/スイッチアクセス)が起動します
	TalkBack		画面にある文字(アイコンやボタンを含む)を読み上げたり、アプリを操作したり、点字や音声、キーボードでの入力によるコミュニケーションを支援します
	スイッチアクセス		外付けのスイッチや外部キーボードを接続し、キーに操作を割り当ててスイッチデバイスとして設定することで、タッチスクリーンの代わりにスイッチでAndroidデバイスを操作できます 画面上の項目をスキャンして、各項目を順番にハイライト表示し、目的の項目がハイライト表示されたらその項目を選択できます
デバイス情報	システムアップデート		ソフトウェアをアップデートします
	デバイス名		本機のデバイス名の表示、変更をすることができます
	リセット	出荷時設定にリセット	お買い上げ時の設定に戻します
	ステータス		ネットワーク、シリアル番号などの情報を表示します
	法的情報		ライセンス情報や規約を表示します
	モデル		本機のモデル名を表示します
	AndroidTVのOSバージョン		本機のOSのバージョンを表示します
	AndroidTVのOSセキュリティパッチレベル		Androidのセキュリティを向上する目的でパッチ作業を実施した日付を表示します
	カーネルバージョン		本機のOSのカーネルバージョンを表示します
	AndroidTVのOSビルド		本機のOSのビルド番号を表示します
	Netflix ESN		Netflixの端末番号を表示します
日付と時刻			日付と時刻の取得方法や表示形式を設定できます。
言語			本機の表示言語を設定します
キーボード			スクリーンキーボードの設定をします
ストレージ			本機の内部ストレージ、本機に接続している外部ストレージの情報表示やUSBデバイスの取り外しをします
背景モード			スクリーンセーバーで表示するコンテンツを選択します
電源と省エネ設定	電源オン時の画面		本機の電源がオンになった時の画面を設定します
	省エネツール	画面をOFFにする	無操作の状態が設定した時間経過した時にスタンバイ状態にします
		画面のOFFを許可する	メディアの再生時に画面をオフする機能を有効にするか設定します
	スリープタイマー		本機の電源をオフにする時間を設定します
	オートスタンバイ		無操作の状態が4時間続いた時に自動的にスタンバイ状態にします
	高速起動		電源を入れて画面が表示されるまでの時間が短縮されます
キャスト			Wi-Fiに接続されているすべてのAndroidデバイスに通知を表示し、本機にキャストされているメディアの操作をそのデバイスに許可します
システムサウンド			操作時のシステム音をオン/オフします
健康	夜間モード		夜間モードの開始時刻と終了時間を設定することで、フォローナイトモードに設定された目の保護、自動音量調整の機能を夜間モードの間、自動的にオンにします
	目の保護		ブルーライトを低減します
	自動音量調整		音量を自動調節します
店舗モード	店舗モード		店舗での展示用の設定です
	E-POP		展示用に本機の機能を紹介する表示を出します
再起動			本機を再起動します

設定			内容
リモコンとアクセサリ			
Bluetooth			Bluetooth機能を有効にします
アクセサリのペア設定			リモコンやBluetoothアクセサリのペアリング、接続解除などを行うことができます
ヘルプとフィードバック			
フィードバックを送信			Googleにフィードバックを送信、Google TVのヘルプサイトにアクセスします

設定できる項目（テレビ設定）

テレビ受信画面から「設定」サブメニューボタンで設定できる項目を示しています。

本機搭載のシステムがバージョンアップすると、設定できる項目・名前が変化することがあります

設定			内容
テレビ設定			
視聴設定	字幕	字幕	字幕を切り替えます
		文字スーパー表示	文字スーパー表示を切り替えます
	映像切換		複数の映像がある番組のとき、映像を切り替えます
	音声切換		複数の音声がある番組のとき、音声を切り替えます
	オーバースキャン		オーバースキャンを切り替えます
	ラジオ・データ表示		ラジオ・データ放送の表示・非表示を切り替えます
録画機能	画面表示常時表示		画面表示を常時表示するかを切り替えます
	録画リスト		録画リストの表示 録画した番組の再生や削除ができます
	予約リスト		予約リストの表示 録画予約・視聴予約の確認・変更・削除ができます
	USB-HDD設定		USB/ハードディスクの管理 初期化・登録・削除を行います
機能設定	オートチャプター設定		録画した番組を再生するときのチャプター設定をします
	信号レベル		地デジ/BS/CSの信号レベルを確認します。
	チャンネル番号設定		リモコンのチャンネルの並びをお好みに変更できます
	チャンネルスキップ設定		不要なチャンネルをスキップ設定することができます
	暗証番号設定		視聴制限をするための暗証番号を設定します
本体情報	視聴制限設定		視聴制限のある番組を視聴させない設定をすることができます
	お知らせ		放送局や本機についてのお知らせが届きます
	個人情報初期化		テレビの設定をすべて消去し、出荷時状態に戻します
	ソフトウェア情報	本体情報	システムのバージョンなどを表示します
		BCAS情報	B-CASカードの番号を表示します
		ライセンス情報	そのほかライセンス関係の表示

設定できる項目（番組表設定）

番組表表示中に「設定」サブメニューボタンで設定できる項目を示しています。

本機搭載のシステムがバージョンアップすると、設定できる項目・名前が変化することがあります

設定		内容
番組表設定		
番組データ取得		番組表データを取得します
サブチャンネル表示		サブチャンネルの表示・非表示を切り替えます
表示時間数切換		番組表で表示する時間数を切り替えます
表示サイズ切換		番組表で表示するフォントサイズを切り替えます
ジャンルカラー設定		各ジャンルのカラー表示オン・オフを切り替えます
背景カラー設定		番組表の背景色(白・黒)を切り替えます
番組検索		ジャンル・放送・放送サービスを選択し、番組を検索します

アップデートのしかた

ソフトウェアをアップデートする

本機のソフトウェアは、機能の改善や機能の追加、セキュリティ対策のためアップデートが用意されます。

△ご注意

- アップデートにはインターネット接続が必須です。
- アップデート中に電源を切ったり、電源コードをコンセントから外さないでください。

1 ⦿設定ボタンを押す

2 ⦿方向ボタンと⦿決定ボタンで、「設定」→「システム」→「デバイス情報」→「システムアップデート」と選択する

3 「システムアップデート」で⦿決定ボタンを押すと、アップデート確認が始まる

4 アップデートに必要なダウンロード可能なデータがある場合は、画面の指示に従ってダウンロードする

「お使いのシステムは最新の状態です」と表示される場合は、最新の状態のため、アップデートは必要ありません。

5 画面の指示に従ってアップデートをする

対応するHDMI入力映像フォーマット

- 映像が表示されない場合、下表の入力信号に合うように映像機器やパソコンなどの設定を変更してください。
- パソコンを接続する場合、リフレッシュレートを60Hzに設定することを推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート または垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック
480i	720 x 480	59.94/60Hz	15.734/15.750kHz	27.000/27.027MHz
480p	720 x 480	59.94/60Hz	31.469/31.500kHz	27.000/27.027MHz
720p	1280 x 720	59.94/60Hz	44.955/45.000kHz	74.176/74.250MHz
1080i	1920 x 1080	59.94/60Hz	33.716/33.750kHz	74.176/74.250MHz
1080p	1920 x 1080	59.94/60Hz	67.433/67.500kHz	148.352/148.500MHz
		23.98/24Hz	26.973/27.000kHz	74.176/74.250MHz
		29.97/30Hz	33.716/33.750kHz	74.176/74.250MHz

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
全般		
すべての操作を受け付けない	ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります	電源プラグを一度コンセントから抜き、改めて電源を入れてください それでも操作を受け付けない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室にご連絡ください
アプリが正しく動作しない	内部共有ストレージの空き容量が不足していて、アプリの動作が不安定になっている	設定→システム→ストレージ→内部共有ストレージで使用可能容量を確認してください 空き容量が不足している場合は、不要なアプリやデータを削除してください
電源が自動で入る	ネットワークとインターネットの起動設定の機能により、外部機器のアプリ等からの操作で電源が入っている	設定→ネットワークとインターネット→起動設定で、Wow、Wol、WoC の設定をオフに切り換えてください
リモコンで操作できない	Bluetooth 接続が切断されて、赤外線での操作になっている	設定→リモコンとアクセサリでリモコンの Bluetooth 接続が完了していることを確認してください
外部機器のアプリのリモコン機能などで本機の操作ができない	本機と同じネットワークに接続されていない	本機と外部機器が同じネットワークに接続されているか確認してください
	ネットワークとインターネットの起動設定がオフになっている	設定→ネットワークとインターネット→起動設定で、Wow、Wol、WoC の設定をオンに切り換えてください
ときどき「カチッ」や「ビューン」と音がする	本機はスタンバイ時各種情報取得や時刻修正などを自動で行なっている	問題ありません
ときどき「ジー」といった音がする	使用中の動作音、または背面の壁と間隔が短いと反射音が大きく聴こえることがあります	問題ありません 壁からの反射音の場合は、壁からの距離を十分にとってください
本体の上部や背面の温度が高い	長時間使用した場合、50～60℃ ぐらいまで温度が上昇することがあります	問題ありません
本体の表面の温度が高い	長時間使用した場合、液晶バックライトの影響で 50～60℃ ぐらいまで温度が上昇することがあります	問題ありません
視聴中の番組表しか表示されない	番組表更新時に電源が切れていた	番組表は放送ごとに送信されてきます 表示されない放送局を選局後、しばらく視聴ください
高速起動を有効にしても起動時にロゴが表示されるときがある	本体のシステム更新のため定期的に電源を落とす場合があります	問題ありません
映像		
本体の電源ボタンを押すと、音量やチャンネル切換の表示とは違う画面が表示される	スイッチアクセス機能がオンになっている	設定→システム→ユーザー補助→スイッチアクセス→有効にするをオフに切り換えてください
HDMI 接続した機器の映像や音声为正しく出力されない	本機に HDMI 接続された外部機器の EDID バージョンが正しく読み取れていない	設定→チャンネルと入力→外部入力→HDMI EDID バージョンの設定を自動 EDID から接続機器に合わせた設定値に切り換えてください
急に画質や音質が低下した	降雨対応放送になっている 雨の影響で電波が弱くなる場合があります	天候の回復により戻ります
映像も音声も出ない	電源プラグが、コンセントから抜けている	電源プラグの接続を確認してください
	本体の電源が入っていない	電源ボタンを押して電源を入れてください
	テレビ以外の外部入力を選択している	 入力切換ボタンを押して入力切換をしてください
	外部機器が正しく接続されていない	外部機器の接続と電源を確認してください

故障かな？と思ったら（つづき）

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
音が出るが映像が出ない	外部機器が正しく接続されていない	外部機器の接続を確認してください
映像内容が変わっても、前の映像が残って見える	静止画やメニューを短時間（1～数分以上）表示し、映像内容が変わると、前の静止画など残像として見えることがあります	問題ありません 次第に回復します
有料放送が視聴できない	B-CASカードが正しく取り付けられていない	B-CAS カードを正しく取り付け
	有料放送の視聴契約をしていない	有料放送の視聴契約をする
字幕が出ない	字幕のない番組をみている	番組詳細で字幕があるかないかを確認してください
	字幕の設定が「オフ」になっている	字幕設定を「オン」にしてください
映像が停止したり選局やそのほか操作を受け付けない	ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります	電源プラグを一度コンセントから抜き、改めてコンセントに差し込み、確認・様子を見る
音声		
映像は出るが音が出ない	本機のスピーカー出力がオフになっている	設定→映像と音声→音声→スピーカーをオンに切り換えてください
	音量が最小になっている	  音量+ボタンで音量を上げる
	 消音ボタンが押されている	再度  消音ボタンを押してください
	ヘッドホン端子にヘッドホンまたはイヤホンが接続されている	ヘッドホン端子を確認し、接続されているものを外してください
	音声接続されていない	音声接続を正しく接続する
急に画質や音質が低下した	降雨対応放送になっている 雨の影響で電波が弱くなることがあります	天候の回復により戻ります
操作時に勝手に音声を読み上げられる	TalkBack 機能がオンになっている	設定→システム→ユーザー補助→TalkBack →有効にするをオフに切り換えてください
HDD録画		
録画できない	録画禁止の番組、ラジオやデータ放送を録画しようとした	これらの番組は録画できません
	録画可能時間が足りない	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	録画済タイトル数が上限を超えた	不要な番組を削除してください
	HDDアクセス中に電源プラグを抜いたり、USBプラグを抜いたりした	正しく取り付ける（復活しないときは、USBハードディスクをフォーマットしてください）
録画予約した番組が録画されていない	高速起動設定がオフになっている （高速起動設定がオフの状態だと、電源オフ中にHDD録画が動作しません）	録画予約を行ったときは、設定→システム→電源と省エネ設定→高速起動をオンに切り換えてください
	電源を切るとき、シャットダウンした （リモコンの電源ボタンを長押し、または無信号電源オフ機能（➡32）で電源がシャットダウンされると、電源オフ中にHDD録画動作しません）	録画予約開始前に電源を入／切して、スタンバイ状態にしておいてください
録画が途中で止まる	録画可能時間が足りない	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	途中から録画禁止の番組に変わった	録画禁止の番組は録画できません
	録画中に電源やUSBの外れ、停電が起きた	それぞれプラグをしっかりと取り付けてください（停電時の録画には対応できません）
予約録画ができない	録画可能時間が足りない	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	録画禁止の番組、有料のもので未契約の番組を予約しようとした	録画禁止の番組や未契約の番組は録画予約できません
再生できない	録画したときに異常があつて正常に録画できなかったものを再生しようとした	正常に録画できなかった番組は再生できません

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
再生画面にブロックノイズが多数発生する	録画したときに受信状態が悪かった 画面の激しい動きに対応しきれていない 元画像にブロックノイズがある	問題ありません
	HDDのエラーが発生している	頻発するときは、USBハードディスクをフォーマットしなおし、改善しないときはUSBハードディスクを変更する
	HDDの不調	
予約録画した番組が正しく録画されていない	録画可能時間が足りなかった	不要な番組を削除して録画可能時間を増やす
	放送番組の追従機能で前の番組が予約時間に重なってしまった	優先したい番組の前の予約には追従機能は使用しないでください
	録画禁止の番組を録画した	番組説明を確認してください
	ソフトウェアのアップデートが行なわれた	ソフトウェアのアップデート中は録画できないため、日頃から問題ない時間にソフトウェアのアップデートをしておく
HDD を認識しない	USBハブを使用して接続している	USB 端子に直接接続する
	仕様に合っていないUSBハードディスクを接続している	仕様に合った USB ハードディスクを使用する（セルフパワー方式の 8TB まで）
録画した番組すべて消えた	録画中や再生中にUSBハードディスクの接続や電源が切れてダメージが大きく、番組が消失した	接続しなおすなどして、表示されない場合は、初期化してみる（ダメージが大きい場合は使用しない）
メニューや番組表などの表示が遅いことがある	録画などの内部処理で表示などの処理が遅くなることがあります	問題ありません
デジタル放送		
デジタル放送が映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない	B-CASカードを正しく挿入しなおしてください
	UHFアンテナまたはBS/CSアンテナが設置されていない／正しい方向を向いていない	UHFアンテナ・BS/CSアンテナの設置・向きを確認してください
	アンテナ線が正しく接続されていない	アンテナ線を正しく接続してください
	お住まいの地域を正しく設定していない	チャンネルの設定をしてください
HDMI接続		
映像が出ない・映像が乱れる・音が出ない	正しく接続されていない	形状を合わせて奥まで正しく取り付ける
	HDMIケーブルの一部製品では使用できないことがあります	別なケーブルを使用してみてください
	接続の同期具合が悪い	テレビおよび接続機器の電源を入／切をしてみてください
	対応信号に合っていない（スクリーンサイズ・解像度・周波数など）（音声にノイズが入る場合でも設定が必要な場合があります）	接続機器の設定を対応信号に設定してみてください
HDMI連動が動作しない・正しく動作しない	本機のHDMI連動を正しく設定していない	設定→チャンネルと入力→外部入力の HDMI 制御の設定を確認する
	HDMI連動機器をつなぎ変えたり、取り換えた場合は正しく動作しないことがあります	設定→チャンネルと入力→外部入力の HDMI 制御の設定をしなおす
	HDMI連動機器が対応していない	HDMI連動機器側の設定を確認する
	接続しているHDMIケーブルが対応していない	HDMI規格に合ったケーブルを使用する ・1080 p の映像信号を入力する場合は HighSpeed対応品を使用する ・ARC機能を使用するにはARC対応のケーブルを使用する

その他

主な仕様

型番		32Z65	40Z65
OS		GOOGLE TV (Android™ 11)	
メモリー	RAM	DDR2GB	
	ROM	eMMC16GB	
液晶パネル	画面サイズ	32V型	40V型
	バックライト	LED	
	画素数	1366×768	1920×1080
	アスペクト比	16:9	
	視野角	左右約178° / 上下約178°	
受信チャンネル		地上デジタル：UHF (13～62ch) CATVパススルー (VHF、UHF) 対応 BSデジタル：BS (000～999ch) 110度CSデジタル：CS (000～999ch)	
チューナー		地上デジタル× 2、BS・110度CS デジタル× 2	
音声出力(スピーカー)		8W+8W	
リモコン		赤外線+ワイヤレス、音声操作対応	
入出力端子	HDMI入力	2系統 (HDMI2.0対応) CEC対応、ARC対応 (HDMI 1のみ) HDCP対応 表示可能最大解像度 1366×768@60Hz	2系統 (HDMI2.0対応) CEC対応、ARC対応 (HDMI 1のみ) HDCP対応 表示可能最大解像度 1920×1080@60Hz
	ビデオ入力	1系統 3.5mmミニジャック	
	ヘッドホン出力	1系統 3.5mmミニジャック	
	デジタル音声出力	1系統 光デジタル角形	
	LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX	
	USB端子	2系統 録画用・メディア/サービス用 (USB2.0)	
ワイヤレス	Wi-Fi	2.4GHz/5.0GHz	
	Bluetooth	BluetoothV5.1	
機能	プリインストールアプリ	Netflix、YouTube、PrimeVideo、GooglePlay、メディアプレーヤー、etc.	
	キャスト	Google Cast	
	音声検索	Googleアシスタント	
	HDR	HDR10	
使用環境/保管環境		温度：0～40℃ / -20～60℃ 湿度：80%RH以下(結露がないこと)	
VESAマウント		200mm×100mm	
サイズ	取付ネジ	M4×25mm×4本 (市販品)	M6×28mm×4本 (市販品)
	スタンドなし約	71.8(幅)×7.0(奥行)×42.7(高さ)cm	89.2(幅)×7.4(奥行)×51.1(高さ)cm
	スタンドあり約	71.8(幅)×18.8(奥行)×48.0(高さ)cm	89.2(幅)×19.4(奥行)×57.0(高さ)cm
重量	スタンドあり約	3.4 kg	4.8 kg
電源		AC 100V 50/60Hz	
消費電力		60 W	74 W
付属品		リモコン×1、単4形乾電池×2、電源コード×1、転倒防止用フック×2、ネジ×2、 壁掛け金具用スペーサー×4、取扱説明書×1、ビデオ入力用変換ケーブル×1、 B-CASカード×1、B-CASカードカバー×1、固定ネジ×1、スタンド×2、 スタンド取付用ネジ(32Z65：X2、40Z65：X4)	

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

MEMO

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは
保証書をお手元にご用意の
上お問い合わせください。

WEB
からの
お問い合わせ

ドウシシャお客様サポート



<https://www.doshisha.co.jp/support/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marché 公式オンラインストアで
ONLINE STORE
<https://www.doshisha-marche.jp/>

お電話から
お問い合わせ

☎0120-104-481

【受付時間】9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

**修理品
発送先**

ドウシシャ 〒915-0801
福井カスタマーセンター 福井県越前市家久町41-1
※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付ける
ことができません。

 **株式会社ドウシシャ**

<https://www.doshisha.co.jp/>

8A25A